

## 資料 3

---

參考資料編



## 目 次

---

<b>1. 市内の類似施設の概要</b>	1
1.1市民会館 施設概要	2
1.2福祉文化会館 施設概要	4
1.3市民総合センター 施設概要	6
1.4生涯学習センター 施設概要	8
1.5男女共生センター 施設概要	10
<b>2. 現状調査の概要（耐震診断及び改修計画）</b>	12
2.1耐震診断結果概要	12
2.2構造耐震指標の概要	12
2.3コンクリートの中性化の概要	12
2.4補強計画の概要	13
2.5設計上の問題	13
<b>3. 稼働率の高い施設の概要</b>	14
3.1枚方市市民会館	15
3.2吹田市文化会館（メイシアター）	17
3.3門真市民文化会館	19
3.4河内長野市立文化会館	21
<b>4. 上位・関連計画等の整理</b>	24
4.1文化芸術振興基本法及び基本方針	25
4.2劇場・音楽堂等の活性化等に関する法律	26
4.3第4次 茨木市総合計画	27
4.4茨木市都市計画マスターplan	29
4.5立命館大学大阪茨木キャンパス計画	30
<b>5. 特徴的な運営を行っている類似施設</b>	32
5.1黒部市国際文化センターコラーレ	33
5.2可児市文化創造センター ala	34
5.3ミューザ川崎シンフォニーホール	35
5.4杉並公会堂	36
5.5長野市芸術館（平成26年度末竣工予定）	37
<b>6. 類似施設の特徴的な空間と活用方法</b>	38
6.1まつもと市民芸術館	39
6.2滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール	40
6.3兵庫県立芸術文化センター	41
6.4兵庫県立美術館	42
6.5河内長野市立文化会館	43
6.6長岡市シティホールプラザ アオーレ長岡	44
6.7総曲輪グランドプラザ	45
6.8グランフロント大阪	46
6.9神戸新聞松方ホール	47
<b>7. 検討の経緯</b>	48
7.1委員会設置要綱	48
7.2委員名簿	49
7.3検討経緯	49



## 1. 市内の類似施設の概要

---

市民会館及び市民会館と同様のホールを持つ施設について、概要を整理しました。  
整理した施設は以下のとおりとなっています。

1. 市民会館
2. 福祉文化会館
3. 市民総合センター
4. 生涯学習センター
5. 男女共生センター

整理した項目は、以下のとおりとなっています。

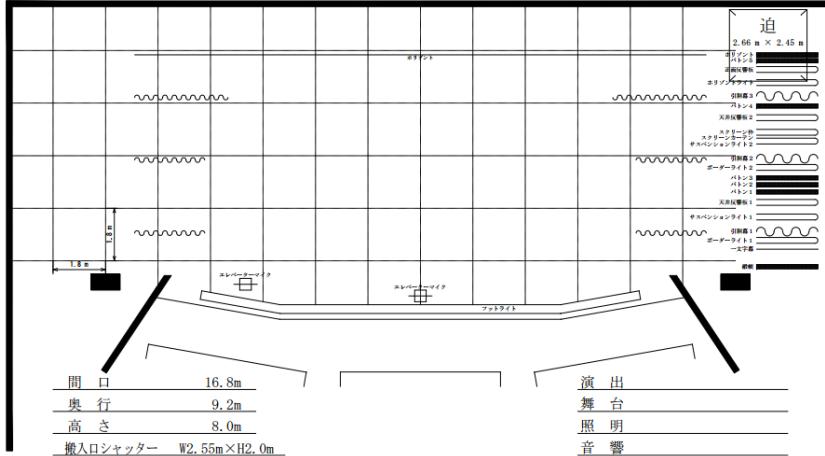
- 設置趣旨、所在、開館日など
- 建築諸元（構造、規模など）
- ホールの施設概要
- ホールの図面、写真

## 1.1 市民会館 施設概要

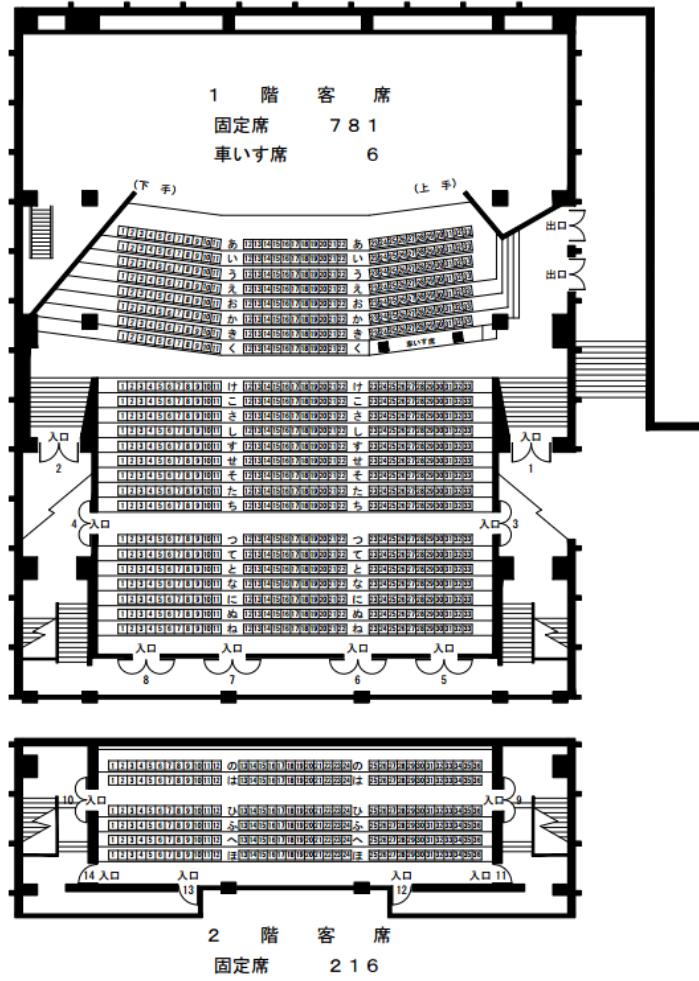
茨木市市民会館は、市民の福祉の増進及び文化教養の増進を図ることを目的に、昭和 44 年 6 月に開館した。市民会館は大ホールのほか、ドリームホール、会議室等を備え、発表会や講演会、展示会、会議に利用されている。

項目	内容		
設置趣旨	市民の福祉の増進及び文化教養の増進を図ること		
所在地・アクセス	茨木市駅前四丁目 7-50 (JR 茨木駅・阪急茨木駅から徒歩 9 分)		
開館日	昭和 44 年 6 月 15 日		
建設費	5 億 38 百万円		
休館日	12 月 29 日～翌年 1 月 3 日 (ほかに臨時休館あり)		
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下 1 階地上 6 階建		
敷地面積	1,896 m <sup>2</sup>		
建築面積・延床面積	建築面積 1,388 m <sup>2</sup> 延床面積 6,280 m <sup>2</sup>		
施設内容 (ホール関連)	大ホール	座席数	1003 席(固定席 997 席、車いす席 6 席)
		ホール形式	プロセニアム形式
		舞台	間口 16.8m 奥行 9.2m 高さ 8.0m
		主用途	講演会、発表会、コンサート
	ドリームホール	収容人数	200 人 (移動席 150 席)
		ホール形式	平土間形式
		舞台	間口 14.2m 奥行 20.96m 高さ 4.2m
		主用途	ダンス、体操、集会
	樂屋 1	55.0 m <sup>2</sup>	収容人数 30 人
	樂屋 2	21.6 m <sup>2</sup>	収容人数 10 人
	樂屋 3	25.7 m <sup>2</sup>	収容人数 10 人
施設内容 (ホール以外)	市民活動センター	31.6 m <sup>2</sup>	
	事務室	123 m <sup>2</sup>	
	食堂「すずらん」	160 m <sup>2</sup>	
	売店	7 m <sup>2</sup>	
	会議室	4 室合計 229.8 m <sup>2</sup>	30 人収容 (3 室)、24 人収容 (1 室)
	和室	2 室合計 42 畳	36 人収容 (1 室)、12 人収容 (1 室)
駐車場	無し (身障者用駐車スペース 1 台分有、一般の方は市の公共施設駐車場)		
管理運営団体	公益財団法人茨木市文化振興財団		

## 大ホール舞台図



## 大ホール座席表



## 大ホール（舞台側）



### 大ホール（客席側）



## ドリームホール



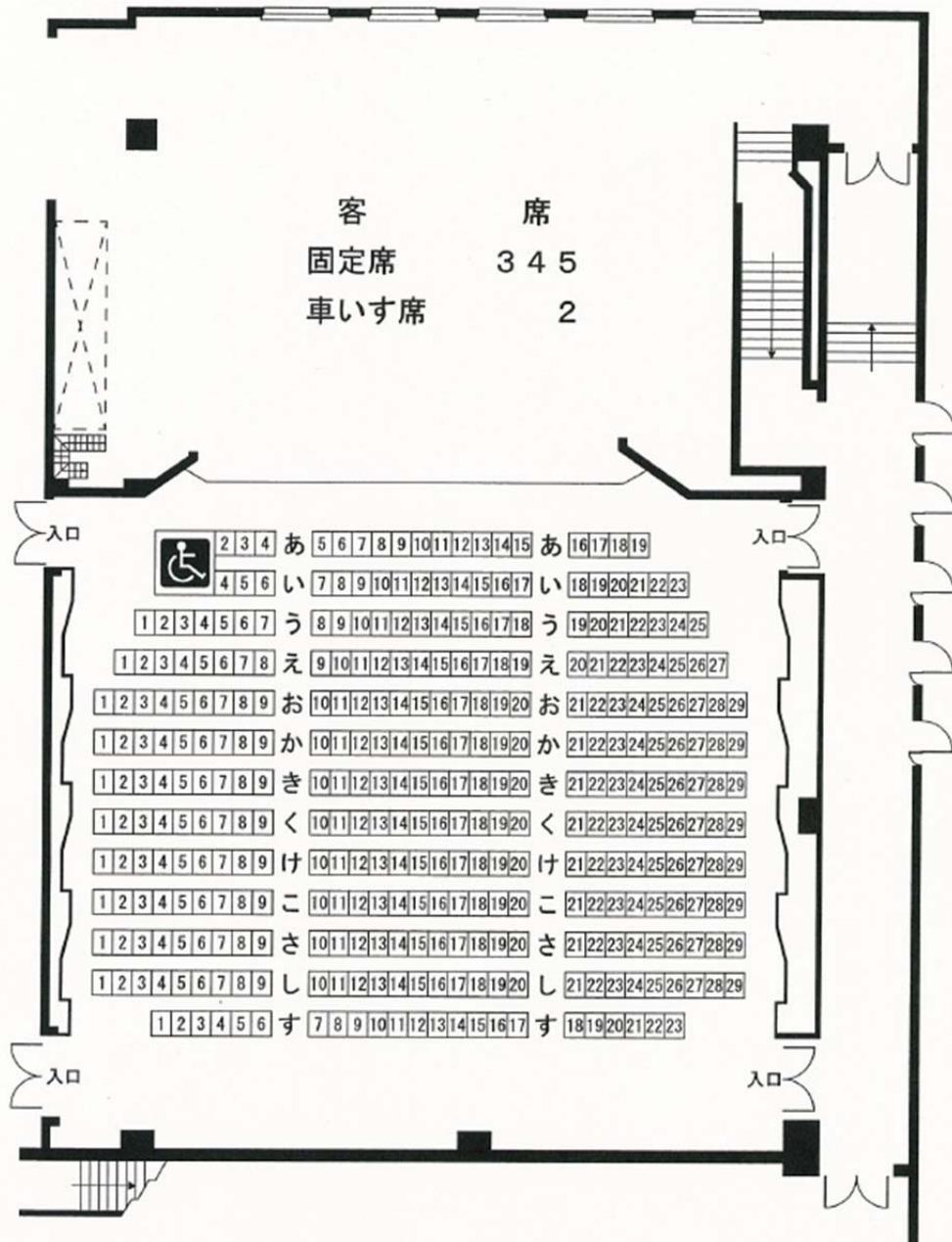
## 市民会館外觀

## 1.2 福祉文化会館 施設概要

福祉文化会館は、社会福祉及び文化教養の充実向上を図り、もって市民福祉の増進に寄与することを目的に、昭和 56 年 6 月に開館しました。福祉文化会館は文化ホールのほか、貸し会議室を備えています。

項目	内容		
設立趣旨	社会福祉及び文化教養の充実向上を図り、もって市民福祉の増進に寄与すること		
所在地・アクセス	茨木市駅前四丁目 7-55 (JR 茨木駅・阪急茨木駅から徒歩 9 分)		
開館日	昭和 56 年 6 月 8 日		
建設費	22 億 30 百万円		
休館日	12 月 29 日～翌年 1 月 3 日 (ほかに臨時休館あり)		
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下 2 階地上 5 階塔屋 2 階建		
敷地面積	1,750 m <sup>2</sup>		
建築面積・延床面積	建築面積 1,184 m <sup>2</sup> 延床面積 6,939 m <sup>2</sup>		
施設内容 (ホール関連)	文化ホール	座席数	347 席(固定席 345 席、車いす席 2 席)
		ホール形式	プロセニアム形式
		舞台	間口 11.0m 奥行 6.4m 高さ 4.0m
		主用途	講演会、発表会、コンサート、集会
		樂屋	60.7 m <sup>2</sup> 収容人数 30 人
施設内容 (ホール以外)	社会福祉協議会	506 m <sup>2</sup>	
	茨木市水道部営業課	263 m <sup>2</sup>	
	市民ギャラリー	8 m <sup>2</sup>	
	会議室	7 室合計 794.7 m <sup>2</sup>	20 人収容 (2 室)、36 人収容 (2 室) 73 人収容 (1 室)、81 人収容 (1 室) 130 人収容 (1 室)
	和室	16 畳	20 人収容 (1 室)
駐車場	無し (市の公共施設駐車場)		
管理運営団体	公益財団法人茨木市文化振興財団		

大ホール座席表



文化ホール（舞台側）



文化ホール（客席側）



文化ホール舞台後方



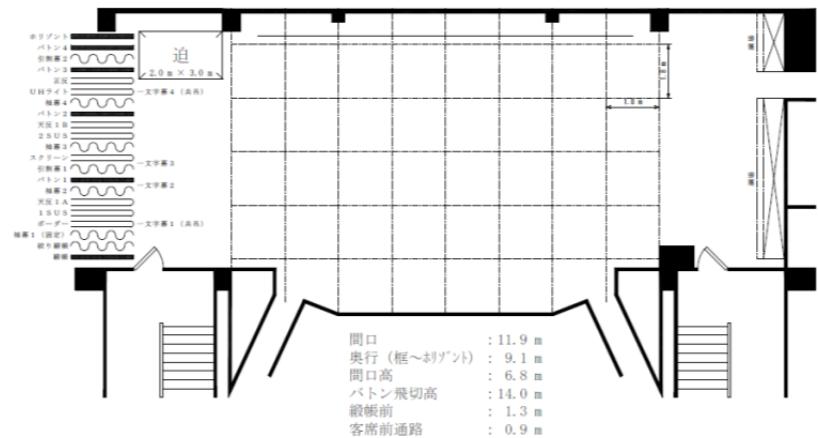
福祉文化会館外観

### 1.3 市民総合センター 施設概要

市民総合センターは、労働及び消費生活に関する活動を増進し、市民福祉の向上に資することを目的に、平成元年 10 月に開館しました。市民総合センターはセンターホールのほか、多目的ホール、貸会議室を備えています。

項目	内容		
設立趣旨	労働及び消費生活に関する活動を増進し、市民福祉の向上に資すること		
所在地・アクセス	茨木市駅前四丁目 6-16 (JR 茨木駅・阪急茨木駅から徒歩 11 分)		
開館日	平成元年 10 月 26 日		
建設費	55 億円		
休館日	12 月 29 日～翌年 1 月 3 日 (ほかに臨時休館あり)		
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下 1 階地上 5 階塔屋 1 階建		
敷地面積	3,805 m <sup>2</sup>		
建築面積・延床面積	建築面積 2,699 m <sup>2</sup> 延床面積 10,614 m <sup>2</sup>		
施設内容 (ホール関連)	センターホール	座席数	429 席(固定席 426 席、車いす席 3 席)
		ホール形式	プロセニアム形式
		舞台	間口 11.9m 奥行 9.1m 高さ 6.8m
		主用途	講演会、発表会、コンサート、映画会
	多目的ホール	収容人数	165 席 (電動移動席 165 席)
		ホール形式	平土間形式
		舞台	間口 11.5m 奥行 15.7m 高さ 6.6m
		主用途	バレエ、ダンス、体操、集会
		控室	31.59 m <sup>2</sup>
	第 1 楽屋	収容人数	10 人
		収容人数	6 人
	第 2 楽屋	収容人数	6 人
施設内容 (ホール以外)	市民ギャラリー	41.69 m <sup>2</sup>	
	学習室	53.76 m <sup>2</sup>	
	喫茶「ローズ」	134.69 m <sup>2</sup>	
	託児室	78.88 m <sup>2</sup>	
	会議室	8 室合計 514.96 m <sup>2</sup>	20 人収容 (3 室)、24 人収容 (1 室) 28 人収容 (2 室)、45 人収容 (3 室)
	和室	3 室合計 26 畳	続き間として利用した場合 42 人収容
	研修室	108.30 m <sup>2</sup>	63 人収容
	生活実習室	86.01 m <sup>2</sup>	24 人収容
	工芸創作室	86.01 m <sup>2</sup>	36 人収容
駐車場	48 (身障者用駐車スペース 2 台)		
管理運営団体	公益財団法人茨木市文化振興財団		

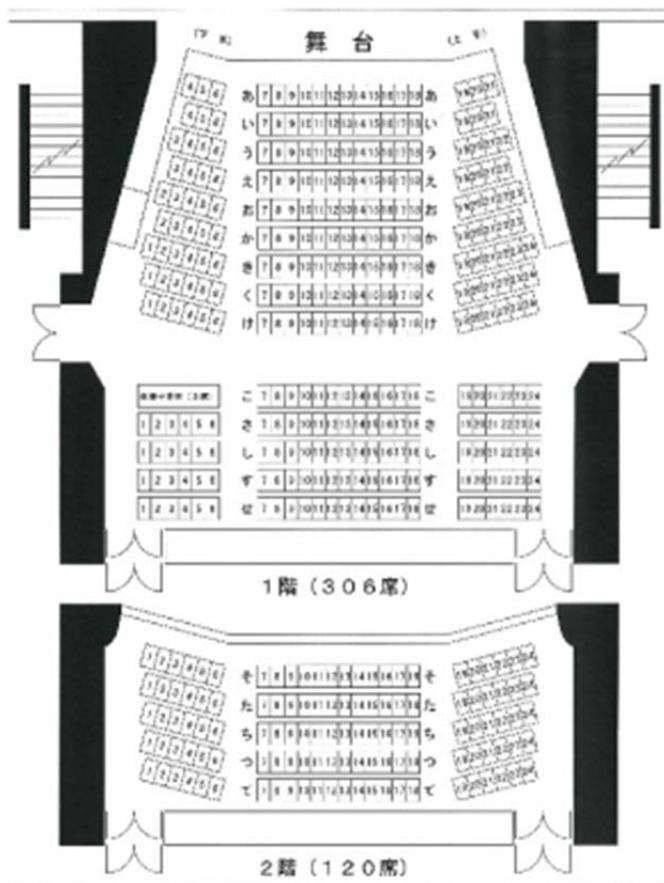
センターホール舞台図



センターホール座席表

### 茨木市市民総合センター

センターホール座席案内図



センターホール（舞台側）



センターホール（客席側）



多目的ホール



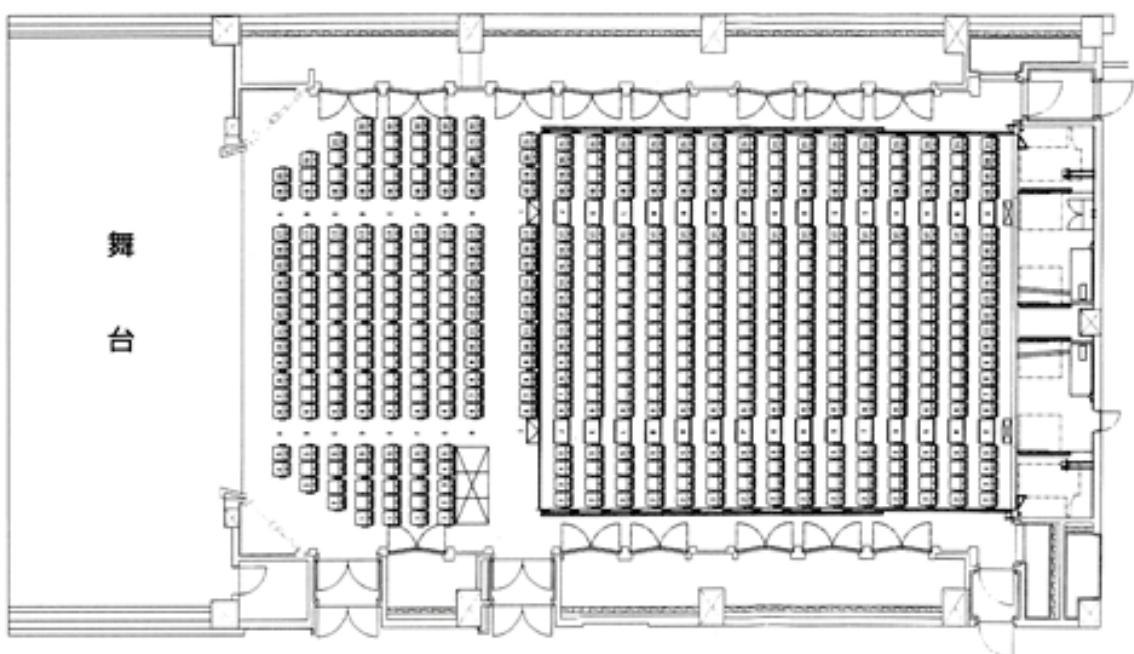
市民総合センター外観

## 1.4 生涯学習センター 施設概要

生涯学習センターは、市民の生涯学習を推進し、市民の教養を高め文化の向上を図ることを目的に、平成 16 年 12 月に開館しました。生涯学習センターはきらめきホールのほか、多目的スタジオ、会議室、研修室、陶芸室等を備え、各種行事や講座を開催・開講しています。

項目	内容		
設立趣旨	市民の生涯学習を推進し、市民の教養文化を高め、文化向上を図ること		
所在地・アクセス	平成 16 年 12 月 1 日		
開館日	35 億 83 百万円		
建設費	毎週火曜日、12 月 28 日～翌年 1 月 4 日		
休館日	鉄骨鉄筋コンクリート造 4 階建		
構造	7,539 m <sup>2</sup>		
敷地面積	建築面積 4,175 m <sup>2</sup> 延床面積 10,923 m <sup>2</sup>		
建築面積・延床面積	平成 16 年 12 月 1 日		
施設内容 (ホール関連)	きらめきホール	座席数 ホール形式 舞台 主用途	478 席(可動席 475 席、車いす席 3 席) プロセニアム形式 間口 10.0m 奥行 9.5m 高さ 0.9m 講座・講座発表会・音楽コンサート・講演会・ダンス発表会・展示会他 ※椅子の格納によりワンフロア(約 300 m <sup>2</sup> ) として利用可能
	控室 1	20.4 m <sup>2</sup>	収容人数 14 人
	控室 2	7.7 m <sup>2</sup>	収容人数 2 人
	控室 3	14.5 m <sup>2</sup>	収容人数 5 人
	親子室	9.8 m <sup>2</sup>	収容人数 8 人
施設内容 (ホール以外)	情報コーナー 相談コーナー	138 m <sup>2</sup>	情報コーナーにパソコン 10 台を設置
	展示コーナー	81 m <sup>2</sup>	
	喫茶コーナー	18 m <sup>2</sup>	
	保育室	50 m <sup>2</sup>	
	団体連絡コーナー	41 m <sup>2</sup>	
	プリント室	20 m <sup>2</sup>	
	自学コーナー	25 m <sup>2</sup>	
	保育室	m <sup>2</sup>	
	会議室	3 室合計 149.6 m <sup>2</sup>	18 人収容 (2 室)、60 人収容 (1 室)
	研修室	4 室合計 338.3 m <sup>2</sup>	33 人収容 (1 室)、51 人収容 (2 室) 66 人収容 (1 室)
	学習室	6 室合計 340.3 m <sup>2</sup>	24 人収容 (1 室)、30 人収容 (5 室)
	I T 学習室	92.9 m <sup>2</sup>	30 人収容
	和室	36.5畳	13 人収容 (1 室)、21 人収容 (1 室)
	工芸室	117.5 m <sup>2</sup>	24 人収容
	陶芸室	82.2 m <sup>2</sup>	20 人収容
	アトリエ	95.3 m <sup>2</sup>	20 人収容
	多目的スタジオ	126.7 m <sup>2</sup>	70 人収容 (講演会)、20～30 人 (ダンス)
	食工房	90 m <sup>2</sup>	20 人収容
	音楽スタジオ	15.8 m <sup>2</sup>	10 人収容
	録音スタジオ	22.5 m <sup>2</sup>	14 人収容
駐車場	有り (116 台、身障者用スペース 3 台)		
管理運営団体	茨木市市民文化部文化振興課		

きらめきホール舞台図



きらめきホール（客席側）



きらめきホール（舞台側）



きらめきホール（親子席）



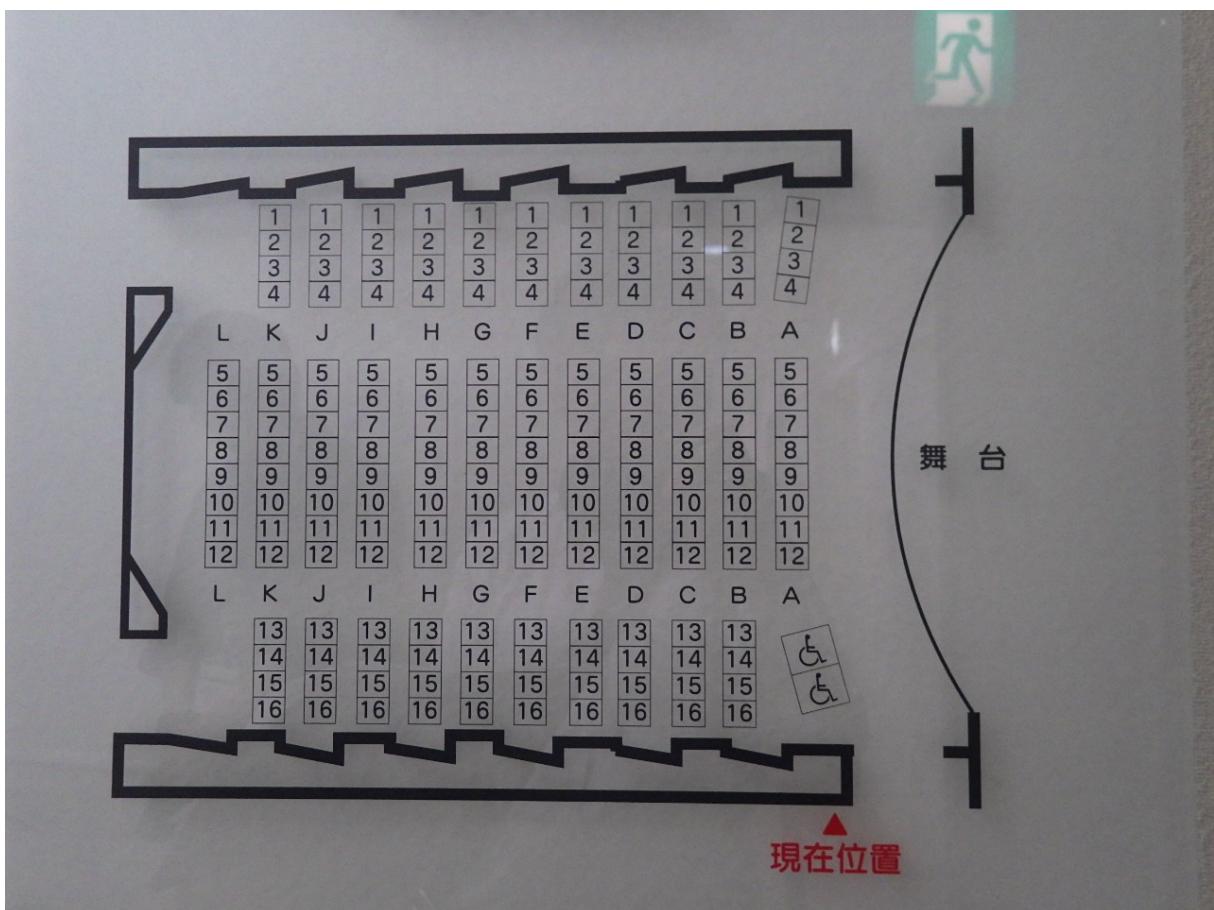
生涯学習センター外観

## 1.5 男女共生センター 施設概要

男女共生センターは、男女共同参画社会を推進し、女性の自立と社会参画を図ることを目的に、平成 12 年に開館しました。

項目	内容		
設立趣旨	男女共同参画社会を推進し女性の自立と社会参画を図ること		
所在地・アクセス	茨木市元町 4 番 7 号 (阪急茨木市駅から徒歩 7 分、JR 茨木駅から徒歩 11 分)		
開館日	平成 12 年 4 月 1 日		
建設費	19 億 90.8 万円		
休館日	12 月 28 日～翌年 1 月 4 日(ほかに臨時休館あり)		
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下 2 階地上 5 階建		
敷地面積	1,054 m <sup>2</sup>		
建築面積・延床面積	建築面積 687 m <sup>2</sup> 延床面積 3,619 m <sup>2</sup>		
施設内容 (ホール関連)	ワムホール	座席数	188 席(固定席 180 席、車いす席 2 席、ファミリールーム 6 人)
		ホール形式	プロセニアム形式
		舞台	間口 8.6m 奥行 6.0m 高さ 4.2m
		主用途	講演、集会、音楽発表会、演劇 等
	控室 1	13.06 m <sup>2</sup>	収容人数 6 人
	控室 2	16.13 m <sup>2</sup>	収容人数 6 人
	ファミリールーム	13.47 m <sup>2</sup>	収容人数 6 人
施設内容 (ホール以外)	エントランスホール	110 m <sup>2</sup>	
	ネットワークギャラリー	135 m <sup>2</sup>	
	喫茶ぱーとなー	9.81 m <sup>2</sup>	
	サポートルーム	80.1 m <sup>2</sup>	
	授乳室	5.11 m <sup>2</sup>	
	こどものへや	58.2 m <sup>2</sup>	
	印刷工房	31.3 m <sup>2</sup>	
	交流サロン	110 m <sup>2</sup>	
	料理工房	92.9 m <sup>2</sup>	
	会議室	3 室合計 75 m <sup>2</sup>	
	研修室	2 室合計 152 m <sup>2</sup>	
	セミナー室	2 室合計 94.6 m <sup>2</sup>	
	和室	56.2 m <sup>2</sup>	
駐車場	有り (3 台、身障者用スペース 1 台、主催者機材搬入用のみ。 一般来場者は中央駐車場)		
	茨木市市民文化部人権・男女共生課		

ワムホール舞台図



ワムホール（舞台側）



ワムホール（客席側）



ワムホール  
(ファミリールーム)



男女共生センター外観

## 2. 現状調査の概要（耐震診断及び改修計画）

### 2.1 耐震診断結果概要

診断結果の概要を以下の報告書より抜粋し、整理した。

平成 15 年 12 月 茨木市市民会館耐震診断報告書

平成 15 年 12 月 茨木市市民会館付属台地耐震診断報告書

平成 16 年 1 月 市民会館現況調査報告書（総合）

### 2.2 構造耐震指標の概要

市民会館の耐震診断の結果、構造耐震指標  $Is$  値 0.6 に対し、5~6F 以外の階で  $Is$  値が 0.6 を下回り、さらに 1F では 0.3 を下回り「地震時の震動及び衝撃に対して、倒壊し又は崩壊する危険性が高い」と判定された。

人口台地においても、 $Is$  値 0.6 を下回り、「地震時の震動及び衝撃に対し、倒壊、又は崩壊する危険性がある」と判定された。

表 2-1 耐震診断による市民会館の  $Is$  値

階	X 方向	Y 方向
6 F	1.058	1.214
5 F	0.616	0.639
4 F	0.637	0.317
3 F	0.404	0.235
2 F	0.379	0.325
1 F	0.207	0.269

表 2-2 耐震診断による人口台地の  $Is$  値

階	X 方向	Y 方向
1F	0.318	0.475

$Is$  値の目安（「建築物の耐震改修の促進に関する法律」より）  
震度 6~7 程度の地震の震動及び衝撃に対して

$Is < 0.3$	・・・倒壊、又は崩壊する危険性が高い。
$0.3 \leq Is < 0.6$	・・・倒壊、又は崩壊する危険性がある。
$0.6 \leq Is$	・・・倒壊、又は崩壊する危険性が低い。

### 2.3 コンクリートの中性化の概要

市民会館では、中性化試験を行った結果、最大で 49mm の中性化している箇所があり、2~3・5~6 階では鉄筋位置まで中性化している可能性が高いと思われる。

人口台地についても、現地にて、柱・梁を 2 か所ずつはり、中性化の測定を行った結果、最大で 56mm 中性化しており、他の場所でも 30mm 程度が多く、鉄筋位置まで中性化している可能性が高いと思われる。

## 2.4 補強計画の概要

本館は、東面に用水路があり、用水路をまたぐように人口台地と接続されている。南面・西面は、道路境界いっぱいに建物が配置されている。

建物外周部敷地に余裕がないことから水平クリアランス確保の面と部分地下化があるため、建物下部に新たな基礎構築が必要な免震工法による耐震補強方法は困難である。また、建物外周部に基礎の構築をする外付けフレームによる耐震補強も困難である。

以上の観点から、直接構造フレーム内に耐震要素を追加していく補強方法を提案する。

## 2.5 設計上の問題

耐震改修を行う上での現状の課題を、法的、利用上、施工上の各視点で整理している。

### <法的課題>

- ・本建物（昭和44年竣工）は、建築基準法における排煙設備及び非常用の進入口については、いわゆる「既存不適格建築物」である。（両項目とも、昭和46年に施工された第12次改正により規定されたものである。）本来ならば、今回の補強計画で増築あるいは大規模の修繕となり、現行法が遡及することとなる。しかし、「建築物の耐震改修の促進に関する法律」において、所管行政庁がやむを得ないと認めた場合は、現行法の遡及は緩和されることとなるので、今後計画を進めていく上で十分な協議が必要となる。
- ・観客席からの出入口が耐震壁を設けることにより少なくなるので、避難計画上不利となる。先に述べた緩和規定もあるが、「大阪府建築基準法施工条例」による基準（第20条：客席床面積に対する出入口幅合計の規定）を満足するよう今後の計画で十分な検討が必要である。
- ・消防法に關しても現行法の遡及があり、大きくは連結送水管設備の設置が義務付けられる（地階を除く階数 $\geq 5$ かつ床面積 $\geq 6,000\text{ m}^2$ ）こととなるので、今後十分な協議が必要である。

### <利用上の課題>

- ・耐震壁により、自然光を取り入れることが難しくなる。
- ・特に1階のロビーは、外部に面する部分のほとんどが開口部のない壁となり、閉鎖的な空間となる。
- ・耐震壁の新設により、動線の確保が困難な箇所や、デッドスペースが生まれる。
- ・封鎖されるスペースが生じるため、使用用途の変更も含めた大幅なプラン（所要室の構成）の検討が必要と思われる。

### <施工上の課題>

- ・全面的な改修工事となるため、施設を運営しながらの工事は不可能であり、工事期間中は全館休館となる。
- ・工事期間中は敷地前面を仮囲いで囲うこととなり、生活道路となっている水路沿いの遊歩道や南側道路の陸橋等が封鎖される。また、工種により、ある一定期間は隣接する福祉文化会館との間の通路も使用できないおそれがある。
- ・建物外周部に余裕がないため、資材置き場の確保、揚重機の設置が困難である。
- ・耐震補強により建物の重量が増大するため、基礎の補強が必要となるが、施工は建物内部での施工、すなわち上空を制限された中での工事となるため非常に困難であり、コストもかさむ。
- ・東側の斜路は特殊な曲面床版（アーチ状スラブ）であり、大きな工事用車両に対する補強検討が必要である。
- ・補強壁築造時に既存設備配管の切回しが必要であるが、補強壁の数が多いため、多大な手間・コストがかかる。

### 3. 稼働率の高い施設の概要

---

大阪府内の 1000 席以上のホールを持ち、稼働率が 70%を超える施設について、概要を整理しました。整理した施設は以下の通りとなっています。

- 3 - 1. 枚方市市民会館
- 3 - 2. 吹田市文化会館
- 3 - 3. 門真市民文化会館
- 3 - 4. 河内長野市立文化会館

整理した項目は、以下のとおりとなっています。

- 自治体概要
- 施設概要
- 大ホールでの自主事業の実績
- 友の会の状況

### 3.1 枚方市市民会館

区分	摘要
自治体概要	市区町村名：枚方市 人口 <sup>*1</sup> ：407,978 人 面積 <sup>*1</sup> ：65.08 km <sup>2</sup> 設置団体 <sup>*2</sup> ：枚方市
施設概要	開館 <sup>*2</sup> ：昭和 40 年 2 月 5 日 住所 <sup>*2</sup> ：枚方市岡東町 8-33 座席数 <sup>*2</sup> ：1454 席 敷地面積 <sup>*3</sup> ：敷地面積 7,936 m <sup>2</sup> 建築面積 3,185 m <sup>2</sup> 延床面積 7,423 m <sup>2</sup> 駐車場：20 台 施設内容：市民会館（本館）、大ホール（1454 席）、小ホール（260 席）、集会室（6 室）、会議室（6 室）、料理室、和室、音楽室、喫茶室 備考：図書館・青少年センター併設 オケピット、料理教室あり 大ホールの開館年月日：昭 46.1.14 開館時間 <sup>*4</sup> ：午前 9 時 30 分～午後 9 時 30 分
建設費 <sup>*2</sup>	539,000 千円
運営組織 <sup>*2</sup>	指定管理者：(株) JTB コミュニケーションズ (H26.4～H31.3)
アクセス	最寄駅：京阪電鉄枚方市駅 所要時間：徒歩約 3 分
稼働率	71.5% <sup>*4</sup>

\* 1：平成 22 年国勢調査結果より

\* 2：全国公立文化施設協会 HP 公立文化施設データベースより抜粋

\* 3：平成 22 年度全国公立文化施設名簿より抜粋

\* 4：平成 25 年 12 月 17 日枚方市議会総務常任委員会所管事務調査最終報告書  
(<http://www.city.hirakata.osaka.jp/uploaded/attachment/43796.pdf>)

(1) 大ホールでの自主事業の実績（2012年（平成24年度）事業報告書より抜粋）

1) 芸術文化事業

	開催月日	回数	事業内容	入場者数
音楽 (コンサート)	4月 26日(木)	1	谷村新司トーク&ライブキャラバン ココロの学校 ～音で始まり、歌で始まる～	1,333人
	7月 6日(金)	1	ニューヨーク・フィル・プラス・クインテット	1,033人
	7月 27日(金)	1	大阪交響楽団 無料公開リハーサル	961人
	9月 14日(金)	1	沢田研二 LIVE 2012 3月8日の雲～カガヤケイノチ	1,349人
	1月 26日(土)	1	大阪交響楽団 寺岡清高（指揮）with長原幸太（ヴァイオリン）チャイコフスキイ・プログラム	767人
	3月 9日(土)	1	小松原庸子&イム舞踊団 情熱のフラメンコ	888人
古典芸能・演劇等	6月 16日(土)	1	桂こごろう改め 二代目桂南天襲名披露公演（米朝事務所共催）	1,139人
	7月 14日(土)	3	しまじろうコンサート 2012 おとぎのくにのたいぼうけん（ベネッセ共催）	3,890人
	7月 15日(日)	3		3,734人
	10月 9日(火)	2	ユネスコ無形文化遺産 人形浄瑠璃 文楽	871人
	12月 21日(金)	1	劇団四季ファミリーミュージカル 「王様の耳はロバの耳」 (枚方市こども夢基金活用事業)	1,262人
	12月 23日(日)	1	現代版組踊り 「火怨の蝦夷、阿弓流為」(ひらかた肝高俱楽部共催)	364人
	2月 2日(土)	1	新春寄席「米朝一門会」	1,303人
映画	5月 18日(金)	1	昭和名作シネ劇場「幸福の黄色いハンカチ」「愛と死をみつめて」	178人
	5月 24日(木)	2	「一枚のハガキ」	760人
	7月 25日(水)	2	「RAILWAYS（レイルウェイズ）」 愛を伝えられない大人たちへ	687人
	9月 4日(火)	2	なつかしの名画鑑賞会名誉市民・森繁久彌と昭和喜劇特集 「駅前旅館」「本日休診」	551人
	9月 5日(水)	2	なつかしの名画鑑賞会名誉市民・森繁久彌と昭和喜劇特集 「喜劇・女は男のふるさと」「ニッポン無責任時代」	
	9月 27日(木)	2	「マーガレット・サッチャー 鉄の女の涙」	803人
	11月 20日(火)	2	「わが母の記」	1,115人
	1月 18日(金)	2	「ひまわり」	501人
	2月 22日(金)	3	「天地明察」	599人
	3月 8日(金)	2	「The Lady アウンサンスー ひき裂かれた愛」	446人

2) 市民の文化活動育成、支援等事業

開催月日	回数	事業内容	入場者数
11月 10日（土） 11月 11日（日）	2	2012 ひらかた市民合唱祭（枚方合唱協会共催）	延3,410人
12月 16日(日)	1	枚方市民メサイア公演 2012「Messiah」 (「枚方市民メサイア公演 2012」運営委員会共催)	1,017人
2月 10日(日)	1	第19回ひらかた吹奏楽フェスティバル（枚方吹奏楽協会共催）	延2,342人

(2) 市民ボランティア

市内で活動している音楽団体を「音楽ボランティア」として募集・登録して、各種の地域コミュニティ活動や老人保健施設等で行われる催しへの出演紹介を行いました。

(3) 友の会の状況

「ひらかた文化友の会」会員数 791人

### 3.2 吹田市文化会館（メイシアター）

区分	摘要
自治体概要	<p>市区町村名：吹田市      人口<sup>*1</sup>：355,798 人      面積<sup>*1</sup>：36.11 km<sup>2</sup>      設置団体<sup>*2</sup>：吹田市教育委員会</p>
施設概要	<p>開館<sup>*2</sup>：昭和 60 年 4 月 1      住所<sup>*2</sup>：吹田市泉町二丁目 29-1      座席数<sup>*2</sup>：1397 席      敷地面積<sup>*3</sup>：敷地面積 10,229 m<sup>2</sup>                       建築面積 6,782 m<sup>2</sup>                       延床面積 16,119 m<sup>2</sup>      駐車場：なし（来場者用）      施設内容：大ホール（1397 席）、中ホール（622 席）、                       小ホール（156 席）、リハーサル室（1 室）、食堂（2 箇所）、                       会議室（洋（2 室）和（1 室））、楽屋（10 室）、                       練習室（2 室）      備考：中ホール、アリーナ、ステージに可変、母子室、オケピットあり      大阪都市景観建築賞大阪府知事賞受賞      大阪施設緑化賞最優秀賞受賞</p>
建設費 <sup>*2</sup>	6,108,000 千円
運営組織 <sup>*2</sup>	指定管理者：（財）吹田市文化振興事業団
アクセス	<p>最寄駅：阪急千里線 吹田駅      所要時間：徒歩約 2 分</p>
稼働率	84.8%（平成 24 年度 利用日数日、開館日数 322 日） <sup>*4</sup>

\* 1：平成 22 年国勢調査結果

\* 2：全国公立文化施設協会 HP 公立文化施設データベース参照

\* 3：平成 22 年度全国公立文化施設名簿

\* 4：メイシアター事業概要平成 23 年度（<http://www.maytheater.jp/jigyodan/pdf/jigyogaiyo23nen.pdf>）

#### （1）大ホールでの自主事業の実績（メイシアター事業概要－平成 24 年度版－より抜粋）

良質の鑑賞型事業や市民参加型事業、プロデュース能力を活かした創造型事業など様々な自主文化事業を行いました。

事業日	事業名	内容
4月1日 (日)	バレエ&ダンスフェスティバル in スイタ 2012	一般公募による210組の出演者が、クラシックバレエのソロやグラン・パ・ド・ドゥ、創作舞踊などを発表。
4月6日 (金)	和太鼓松村組「山鳴り」	世界各地の音楽を組み合わせた独自のスタイルで海外でも多くの観衆を魅了する和太鼓松村組の公演。ゲスト／和太鼓飛龍
5月5・6日 (土・日)	関西二期会 第76回オペラ公演「アドリアーナ・ルクヴルール」	関西二期会によるグランドオペラ。地元の法村友井バレエ団も出演。演出／井原広樹 指揮／ダニエーレ・アジマン
6月2日 (土)	グレイトジャズシリーズ in 吹田 vol. 4	吹田市在住のジャズ・プレイヤーを中心に、関西が誇る実力派ミュージシャンが集結。出演／古谷充、フローレスほか
6月25日 (月)	平成24年度 歌舞伎鑑賞教室	解説／歌舞伎へのご案内 演目／平家女護島「俊寛」鬼界ヶ島の場 出演／片岡我當ほか
7月25・26日 (水・木)	第42回全国高校ギター・マンドリン フェスティバル in すいた	全国の高校より優秀選抜59校が競演。ゲストに吹田市在住のデュオグループ ROOTS が出演。
8月5日 (日)	夏休み特選映画劇場 「マーガレット・サッチャー～鉄の女の涙」	2011年に話題になった映画「マーガレット・サッチャー」を上映。英國初の女性宰相の人生を描いた傑作。
9月15日 (土)	西本智実のチャイコフスキーハンセンチャリー 交響楽団スペシャルコンサート	人気指揮者・西本智実と日本センチュリー交響楽団がおくるチャイコフスキーハンセンチャリーの名曲の数々。吹田南小学校合唱部が特別参加。
12月22日 (土)	関西フィルハーモニー管弦楽団 スペシャルコンサート	230名を超える公募市民合唱団と関西フィルとの共演。吹田市内の中学校の吹奏楽部や合唱部の生徒たちも参加。
2月11日 (月)	吹田母子会 PRESENTS 水前寺清子コンサート	「三百六十五歩のマーチ」等大ヒット曲を持ち、全国各地で人気を誇る実力派歌手水前寺清子のエネルギーッシュなコンサート。

メイシアター・メイト(友の会)の会員相互の親睦と会員組織の充実、拡大を図るため、次の事業を実施いたしました。

事業日	事業名	内容
7月7日 (土)	関西フィルハーモニー管弦楽団 「公開リハーサル」	メイシアター・メイトと本公演チケット購入者対象。藤岡幸夫指揮・関西フィルハーモニー管弦楽団のリハーサル風景を公開。
2月9日 (土)	メイシアター・メイトのつどい 映画「エクレール お菓子放浪記」	メイシアター・メイト対象。東日本大震災直前の日本の美しい心を表現しようと宮城県石巻市を中心に撮影された貴重な作品。

市民に優れた舞台芸術を提供する吹田市民劇場、才能ある芸術家の発掘・育成等を目的とするコンクール事業を始め、市民の芸術文化の振興に寄与するため、行政等と連携し次のような受託事業を行いました。

事業日	事業名	内容
7月7日 (土)	関西フィルハーモニー管弦楽団 七夕コンサート2012	藤岡幸夫指揮・関西フィルによる名曲コンサート。曲目／シューベルト「未完成」ドヴォルザーク「交響曲第8番」ほか(文化のまちづくり室)
7月14日 (土)	「2012 ハートフルコンサートのタベ」 「市民ふれあいフェスティバル」	吹田まつりの一環。人気演歌歌手・香西かおりによる「ハートフルコンサート」と市民ステージ「ふれあいフェスティバル」。(吹田まつり実行委員会)
8月4日 (土)	〈市民平和のつどい2012〉 岩崎宏美コンサート with strings	「ロマンス」「聖母たちのララバイ」など数々のヒット曲を生み出した岩崎宏美のコンサート。(文化のまちづくり室)
11月15日 (木)	マランド楽団コンサート	オランダ生まれの世界的オーケストラ・マランド楽団が、タンゴやルンバが踊られていた時代のステージを披露。(文化のまちづくり室)
12月16日 (日)	第3回 すいたティーンズ クラシックフェスティバル	吹田市内の十代の青少年を対象にしたクラシック音楽のコンクール。予選を通過した21名が本選に出場。(文化のまちづくり室)
12月24日 (月)	〈第157回吹田市民劇場〉 Xmas ファミリーコンサート	子ども番組で人気の坂田おさむが現代の童謡を歌う親子で楽しむコンサート。共演／佐藤弘道、井上あずみ、ゆ一ゆ(文化のまちづくり室)

## (2) アウトリーチ事業

青少年の文化活動の支援や育成に取り組み、ワークショップ、クリニックを通じたプロとの共演を企画し、市内小・中学校、大学に出向いてアウトリーチを推進しました。また、音楽や演劇の分野で広く青少年を参加対象とした大会を支援し、発表の場の提供に努めるなど青少年の文化活動の振興に寄与しました。

### 〈事業例〉

- 「文・学共同事業～千里金蘭大学・演劇ワークショップ」 (自主事業)
- 「文・学共同事業～藤白台小学校・演劇ワークショップ」 (自主事業)
- 「吹田市民の第九～金管クリニック」 (自主事業)
- 「吹田市民の第九～歌唱クリニック」 (自主事業) など

## (3) 友の会の状況

会員総数 1,390 人 (一般会員 1,247 人、家族会員 143 人)

### 3.3 門真市民文化会館

区分	摘要
自治体概要	市区町村名：門真市 人口 <sup>*1</sup> ：130,282人 面積 <sup>*1</sup> ：12.28 km <sup>2</sup> 設置団体 <sup>*2</sup> ：門真市
施設概要	開館 <sup>*2</sup> ：平成5年5月2日 住所 <sup>*2</sup> ：門真市末広町29-1 座席数 <sup>*2</sup> ：1128席 敷地面積 <sup>*3</sup> ：敷地面積7,291 m <sup>2</sup> 建築面積4,370 m <sup>2</sup> 延床面積11,785 m <sup>2</sup> 駐車場：54台（有料駐車場） 施設内容 <sup>*4</sup> ：大ホール（1128席）、小ホール（252席）、リハーサル室、レセプションホール、展示ホール、楽屋（9室）、研修室、会議室（洋（2室））、和室、茶室、多目的室 備考：ハイビジョンシステムを導入 開館時間 <sup>*4</sup> ：午前9時～午後10時
建設費 <sup>*2</sup>	7,296,000千円
運営組織 <sup>*2</sup>	指定管理者：NPO法人トイボックス
アクセス	最寄駅：京阪古川橋駅 所要時間：徒歩約5分
稼働率	74%（平成25年度） <sup>*5</sup>

\*1：平成22年国勢調査結果

\*2：全国公立文化施設協会 HP 公立文化施設データベース参照

\*3：平成22年度全国公立文化施設名簿

\*4：門真市民文化会館 HP (<http://npotoybox.jp/lumi/>)

\*5：平成25年度 指定管理者自己評価結果

[http://www.city.kadoma.osaka.jp/shisei/gyosei/siteikanri/siteikanri\\_hyoka/pdf/24lumi\\_nakatsuka\\_ji.pdf](http://www.city.kadoma.osaka.jp/shisei/gyosei/siteikanri/siteikanri_hyoka/pdf/24lumi_nakatsuka_ji.pdf)

(1) 自主事業（特徴的なものを抜粋）の実績（平成25年度指定管理者自己評価結果より抜粋）

内容	実施状況（実績値等）	達成度分析
吹奏楽 フェスティバル	6月17日（日）入場者数／約1,000名 出演団体数／9団体 市内の中学、高校、実業団及び一般の吹奏樂団と連携した、発表会形式のイベント。	既に定着している事業として、地域団体と連携し、問題なく事業を実施できた。
コーラス フェスティバル	7月22日（日）入場者数／約900名 出演団体数／11団体+ワークショップ1団体、市内の合唱団体と連携。	ワークショップなど新たな試みにチャレンジしたことが功を奏して年々活性化している。
ルミエール 芸術祭2012	8月25日 映画「フラガール」 8月29日 バックステージツアー 8月30日 演劇「越前おわら竹の精」 9月5日 音楽「ミュージックコンサート2012」 9月5~15日 美術「蜘蛛の糸」 9月15日 落語「かどま落語会」 10月4~5日 演劇「お母さんがゾーマ」	市民がもっと気軽に劇場へ足を運べるよう多くのジャンルを取り揃えて実施した。 ホールの利用が少ない時期を狙い、展示を除く催し物を全て平日開催とした。美術展示、映画、落語、音楽、演劇、そして舞台裏を体験する、バックステージツアーと、多種多様な芸術を取り揃えて提供できた。
INFINITY06	12月9日（日）入場者数／約700名 関西ラブジャニクスのライブイベント。	毎回ほぼ満席。ダウン症児たちが所狭しとダンスパフォーマンスを繰り広げ、感動を呼んでいる。
SHINE	2月9日（土）入場者数／約220名 大阪府の『大阪一丸レイブルキャンペーン』の応援イベント。	ニート・ひきこもりと呼ばれる若者たちの就労支援イベント。
ミュージカル『王様の耳はロバの耳』	3月17日（日）入場者数／983名 親子で観劇できるミュージカル。	有名劇団との共催で、収益事業としては成功といえる。

(2) 指定管理者の概要（NPO法人トイボックスHPより抜粋）

名称	特定非営利活動法人トイボックス
所在地	大阪市西区北堀江二丁目17番9号
設立年月日	2003年6月16日
従業員数	54名（非常勤含む）
主な業務内容	こどもと若者の自立と成長を支えるソーシャルサービスを提供。具体的には、 • 公共施設の管理運営（現在5施設）とまちづくりの活動 • 教育機関と連携してのアウトドア、ワークショップの開催 • 地域での文化活動、コンサート、アートフェスティバル等の開催 • 自治体主催の文化祭、市民イベントの運営業務 • 生涯学習の推進など自治体の施策への助言業務 • 不登校や発達障がいのある児童・生徒へのサポート、スクールの運営 • ダウン症のあるこども達のエンターテイメントスクールの運営 • 障がいのあるこども達のアート活動、スポーツ活動の支援 • 引きこもりなどのこども、若者の支援（相談業務、支援拠点の運営） • 若者や障がい者の就労支援の活動 などの活動を行っている。

### 3.4 河内長野市立文化会館

区分	摘要
自治体概要	<p>市区町村名：河内長野市</p> <p>人口<sup>*1</sup>： 112,490 人</p> <p>面積<sup>*1</sup>： 109.61 km<sup>2</sup></p> <p>設置団体<sup>*2</sup>：河内長野市教育委員会</p>
施設概要	<p>開館<sup>*2</sup>：平成 4 年 4 月 23 日</p> <p>住所<sup>*2</sup>：河内長野市西代町 12-46</p> <p>座席数<sup>*2</sup>：1308 席</p> <p>敷地面積<sup>*3</sup>：敷地面積 8,888 m<sup>2</sup></p> <p>建築面積 5,307 m<sup>2</sup></p> <p>延床面積 11,037 m<sup>2</sup></p> <p>駐車場<sup>*4</sup>：175 台</p> <p>施設内容<sup>*4</sup>：大ホール（1308 席）、小ホール（464 席）、 練習室（2 室）、会議室（洋（2 室）和（2 室））、 リハーサル室、食堂兼喫茶、ギャラリー</p> <p>備考：大ホール（プロセニアム可変、残響可変、オケピット、 小迫り 3 基あり） 小ホール（前迫りあり）</p> <p>開館時間<sup>*4</sup>：午前 9 時～午後 9 時</p>
建設費 <sup>*2</sup>	6,822,000 千円
運営組織 <sup>*2</sup>	指定管理者：（財）河内長野市文化振興財団
アクセス	<p>最寄駅：南海電鉄 河内長野駅</p> <p>所要時間：徒歩約 7 分</p>
稼働率	90.7%（平成 24 年度） <sup>*5</sup>

\* 1：平成 22 年国勢調査結果

\* 2：全国公立文化施設協会 HP 公立文化施設データベース参照

\* 3：平成 22 年度全国公立文化施設名簿

\* 4：河内長野市立文化会館 HP (<http://www.lovelyhall.com/index.cgi>)

\* 5：平成 24 年度 事業報告書 (<http://www.lovelyhall.com/foundation/disclosure/pdf/24/24houkoku.pdf>)

(1) 大ホールでの自主事業の実績（平成 24 年度事業報告書より抜粋）

1) 河内長野発の優れた舞台芸術作品を創造し発信する事業（創造発信型事業）

公演日	事業名	入場者数
7月 1日（日）	河内長野マイタウンオペラ コンチェルタンテ vol.1 「トゥーランドット」	1,167 人
8月 5日（日）	ラブリーホール・オリジナル・ミュージカル Vol.7 「エターナルガーデン」	905 人

2) 市民との協働により芸術文化を創造する事業（市民参画型事業）

公演日	事業名	入場者数
10月 21日（日）	ラブリーハロウィーン in かわちながの 仮装ファミリーコンサート	1,167 人
3月 10日（日）	河内長野ラブリーホール合唱団 20周年記念演奏会「ヨハネ受難曲」	818 人

3) 年間を通じて行う長期ワークショップ型事業（教室運営型事業）

公演日	事業名	入場者数
通年（月 4回+臨時）	ラブリーホール・ミュージカルスクール 【本クラス 88回・リトルクラス 46回】	6,901 人
2月 17（日）	ミュージカルスクール 「JOYFUL CONCERT」	375 人

4) 多種多様な芸術文化に出会う機会を提供する事業（芸術文化普及型事業）

公演日	事業名	入場者数
4月 29日（日・祝）	谷村新司トーク&ライブキャラバン 合唱／ラブリーホール・ミュージカルスクール	1,270 人
5月 5日（土・祝）	米村でんじろうサイエンスショー 【2回公演】	1,938 人
5月 6日（日）	ドラゴンクエストスペシャルコンサート 交響組曲ドラゴンクエストIII そして伝説へ	1,248 人
5月 20日（日）	しまじろう おとぎのくにのだいぼうけん【2回公演】	2,015 人
6月 16日（土）	仮面ライダースーパーライブ 2012 【2回公演】	1,434 人
7月 16日（月・祝）	天童よしみコンサート 2012【2回公演】	1,743 人
9月 17日（月・祝）	沢田研二 LIVE2012	1,212 人
11月 17日（土）	稻垣潤一アコースティックライブ 2012	731 人
12月 24日（月・祝）	週末よしもと 爆笑スーパーステージ in 河内長野 2012	978 人
1月 19日（土）	いっこく堂&Dr.レオン ボイスクイズ VS マジッククイズ	847 人
2月 3日（日）	第 59回南海コンサート	820 人
2月 11日（月・祝）	第 60回らぶりい寄席 上方特選落語競演会	626 人
3月 13日（水）	大阪交響楽団「無料公開リハーサル」	335 人
3月 16日（土）	押尾コータロー アコースティックコンサート 2013	910 人

5) カフェ・コンチェルトシリーズ<年間 4 公演実施>

公演日	事業名	入場者数
4月 15日（日）	Vol.1 弦・管・鍵の饗宴	118 人
7月 15日（日）	Vol.2 ピアノ・デュオ ～二人の遊び～	187 人
11月 18日（日）	Vol.3 サキタハヂメのこぎりコンサート	188 人
1月 20日（日）	Vol.4 4人のピアニスト達II	345 人

6) シネマ de ラブリー・シリーズ<年間 11 公演実施>

公演日	事業名	入場者数
5月 2日（水）	天国からのエール【3回】	264 人
5月 31日（木）	ツレがうつになりました【3回】	609 人
6月 21日（木）	RAILWAYS【3回】	561 人
7月 12日（木）	戦火の馬【3回】	586 人
8月 28日（火）	マーガレット・サッチャー【3回】	776 人
9月 25日（火）	HOME 愛しの座敷わらし【3回】	521 人
10月 19日（金）	LOVE まさお君が行く【3回】	221 人
11月 6日（火）	幸せへのキセキ【3回】	389 人
1月 29日（火）	わたしの人生【3回】	504 人
2月 28日（木）	The Lady アウンサンスー【3回】	433 人
3月 15日（金）	天地明察【3回】	526 人

7) 市民による自主的な芸術文化活動支援のための共催事業（芸術文化活動活性化支援事業）

公演日	事業名	入場者数
8月 25日 (土)	ニューフィルハーモニック大阪 夏休みファミリーコンサート	466人
9月 29日 (土)	古典芸能鑑賞会「文楽」【2回公演】	785人
11月 23日 (金・祝)	松山夕貴子コンサート	612人
11月 27日 (火)	アンサンブルユニット ツケメン コンサート	1,213人
3月 20日 (水・祝)	大阪芸術大学ヴィルトゥーゾ・ ウィンドオーケストラ演奏会	352人

8) 市民による自主的な芸術文化活動支援のための助成事業

公演日	事業名	助成額	入場者数
7月 14日(土)	ラブリーな！ 踊り&手づくりアッシュションショー	530,000円	1,430人
8月 26日(日)	アンソロジーコンサート ~米澤傑氏を迎えて~	240,000円	408人
9月 2日(日)	Junior Dance Festival in 河内長野	430,000円	700人

9) 開館 20周年記念事業

公演日	事業名	入場者数
4月 12日 (木)	名作映画無料上映会「風と共に去りぬ」【2回上映】	792人
4月 22日 (日)	開館 20周年記念式典	740人
7月 22日 (日)	かわちながの吹奏楽フェスティバル	1,086人
10月 2日 (火)	名作映画無料上映会 「ローマの休日」【3回上映】	1,066人
2月 16日 (土)	NHK全国放送公開番組 「スクールライブショー」	780人

(2) 友の会の状況

ラブリーホール「Lカード」友の会を運営し、広く会員を募りました。会員特典として、主催公演の割引販売や、ポイント還元サービス等を展開し入場券販売増に繋げました。

【年度末会員数】個人会員 959人、法人会員 12口、ポイント会員 16人

#### 4. 上位・関連計画等の整理

当該地区に関する検討の前提条件として、以下の法令、茨木市における上位計画、関連計画について、整理を行いました。

表 4-1 対象とした上位・関連計画等一覧

名 称	策定年月日
4.1 文化芸術振興基本法と基本方針	平成 13 年 12 月
4.2 劇場、音楽堂等の活性化に関する法律	平成 24 年 6 月
4.3 第 4 次 茨木市総合計画	平成 16 年 12 月
4.4 茨木市都市計画マスターplan	平成 19 年 6 月
4.5 立命館大学いばらきキャンパス計画	

各計画の概要を次ページ以降に示します。

#### 4.1 文化芸術振興基本法及び基本方針

平成13年11月、文化芸術の振興のための基本的な法律として、議員立法による「文化芸術振興基本法」が成立した。この法律の目的は、文化芸術に関する活動を行う人々の自主的な活動を促進することを基本としながら、文化芸術の振興に関する施策の総合的な推進を図り、心豊かな国民生活及び活力ある社会の実現に貢献することとなっています。

表 4-2 文化芸術振興基本法の概要

第一章 総則（第1条～第6条）	第二章 基本方針（第7条）	第三章 基本的施策（第8条～第35条）
<p>目的（第1条） 心豊かな国民生活と活力ある社会の実現 文化芸術振興の基本理念（第2条） ・芸術家等の自主性尊重 ・芸術家等の創造性尊重 ・国民の鑑賞・参加・創造の環境の整備 ・我が国及び世界の文化芸術の発展 ・多様な文化芸術の保護及び発展 ・地域の特色ある文化芸術の発展 ・国際的な交流及び貢献の推進 ・広く国民の意見の反映</p> <p>国及び地方公共団体の責務（第3・4条） 国民の関心及び理解（第5条） 法制上の措置等（第6条）</p>	<p>文化芸術の振興に関する施策の総合的な推進を図るため、政府は基本方針を策定（文部科学大臣が案を作成）</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・文化芸術の各分野の振興</li><li>・地域における文化芸術の振興</li><li>・国際文化交流の推進</li><li>・人材の養成・確保</li><li>・国語・日本語教育の充実</li><li>・著作権等の保護・利用</li><li>・国民の鑑賞等の機会の充実</li><li>・学校教育における文化芸術活動の充実</li><li>・文化施設の充実</li><li>・情報通信技術の活用の推進</li><li>・民間の支援活動の活性化</li><li>・政策形成の民意の反映 等</li></ul>

「文化芸術の振興に関する基本的な方針」（以下「基本方針」）は、文化芸術振興基本法に基づき、文化芸術の振興に関する施策の総合的な推進を図るため、政府が策定する。文化庁では、これまで、第1次、第2次基本方針に基づき、文化芸術の振興に取り組んできました。

平成22年2月には、第3次基本方針（対象期間：平成23年度から平成27年度までおおむね5年間）が閣議決定されました。

表 4-3 文化芸術の振興に関する基本的な方針の概要

第1 文化芸術振興の基本理念	第3 文化芸術振興に関する基本的施策
<ol style="list-style-type: none"><li>1. 文化芸術振興の意義</li><li>2. 文化芸術振興に当たっての基本的視点</li></ol>	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 文化芸術各分野の振興</li><li>2. 地域における文化芸術振興</li><li>3. 国際交流等の推進</li><li>4. 芸術家等の養成及び確保等</li><li>5. 国語の正しい理解</li><li>6. 日本語教育の普及及び充実</li><li>7. 著作権等の保護及び利用</li><li>8. 国民の文化芸術活動の充実</li><li>9. 文化芸術拠点の充実等</li><li>10. その他の基盤の整備等</li></ol>
第2 文化芸術振興に関する重点施策	
<p>六つの重点戦略 ～「文化芸術立国」の実現を目指して～</p> <p>1：文化芸術活動に対する効果的な支援 2：文化芸術を創造し、支える人材の充実 3：子どもや若者を対象とした文化芸術振興策の充実 4：文化芸術の次世代への確実な継承 5：文化芸術の地域振興、観光・産業振興等への活用 6：文化発信・国際文化交流の充実</p>	

## 4.2 劇場・音楽堂等の活性化等に関する法律

平成24年6月に、議員立法として、「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」が成立し、公布・施行されました。

同法は、文化芸術振興基本法の基本理念にのっとり、劇場、音楽堂等の活性化を通じて、我が国の実演芸術の振興等を図り、心豊かな国民生活や活力ある地域社会を実現することなどを目的として定められています。この法律の中では、劇場、音楽堂等の設置者又は運営者、実演芸術団体等、国及び地方公共団体の役割や、これらの関係者等が相互に連携協力することが明らかにされました。また、国及び地方公共団体が取り組むべき事項や、劇場、音楽堂等を取り巻く環境の整備等を進めることなどが規定されています。

文部科学省では、同法に基づき、平成25年3月に「劇場、音楽堂等の事業の活性化のための取組に関する指針」を策定し、劇場、音楽堂等の事業の活性化を図るために、運営方針の明確化、質の高い事業の実施、専門的人材の養成・確保、普及啓発の実施や関係機関との連携など、事業を進める際に取り組むべき事項等について明確にしました。

文化庁では、劇場・音楽堂等を総合的に支援するため、劇場・音楽堂等を活性化するための事業の実施などを通じて、施策を推進しています。

### 4.2.1 劇場・音楽堂等活性化事業（文化庁）

「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」を踏まえ、我が国の文化拠点である劇場、音楽堂等が行う実演芸術の創造発信や、専門的人材の養成、普及啓発事業、劇場、音楽堂等間のネットワーク形成を支援すること等により、劇場、音楽堂等の活性化を図るとともに、地域コミュニティの創造と再生を推進し、心豊かな国民生活及び活力ある地域社会の実現に寄与することを目的としています。

#### ○特別支援事業

我が国の実演芸術の水準を向上させる牽引力のあるトップレベルの劇場、音楽堂等が行う国際的水準の実演芸術の創造発信や、人材養成事業、普及啓発事業を総合的に支援。

#### ○共同制作支援事業

実演芸術の創造発信力を高めることを目的として、複数の劇場、音楽堂等が実演芸術団体と共同して行う実演芸術の新たな創造活動（新作、新演出、新振付、翻訳初演等）を支援。

#### ○活動別支援事業

地域の実演芸術の振興を牽引する劇場、音楽堂等が中心となり、地域住民や実演芸術団体等とともに取り組む実演芸術の創造活動や人材養成事業、普及啓発事業を活動単位で支援。

#### 劇場・音楽堂等間ネットワーク構築支援事業

劇場、音楽堂等相互の連携・協力を促進し、国民がその居住する地域にかかわらず等しく実演芸術を鑑賞できるよう、劇場、音楽堂等又は実演芸術団体が企画制作する実演芸術の巡回公演を支援。

#### ○劇場・音楽堂等基盤整備事業

劇場、音楽堂等において自主的・主体的な実演芸術活動が行われる環境を醸成するため、各種情報提供、調査研究及び研修会（アートマネジメント研修、技術職員研修）を実施。

（文化庁 HP 我が国の文化政策 平成25年度版より抜粋）

#### 4.3 第4次 茨木市総合計画

策定年次：平成16年12月 目標年次：平成27年（茨木市HPより抜粋）

##### □基本構想（施策の大綱）

###### 5. 個性かがやく「文化創造都市」の実現

###### （1）生涯を通じた生きがい活動の推進

すべての市民が、生涯を通じて生きがいを磨き育てるこことできる学習環境、文化・スポーツ環境の整備を行います。

生涯学習については、多様化する市民ニーズに的確に対応する学習機会の創出、拡充や相談体制の充実を図ります。生涯学習センターなどにおける講座プログラムや図書館・公民館事業の一層の充実を図るなど、市民の学びへの意欲を支援し、計画的な生涯学習の推進に努めます。また、事業の企画・運営に関して、市民の積極的な参加と協力を求め、市民が主体となった生涯学習活動の展開に努めます。

また、市民が生涯にわたってスポーツ・レクリエーション活動に親しめる環境の整備を進めます。グラウンド、体育館、プール、スポーツ公園などの体系的な施設整備に努めるとともに、指導員の育成と資質の向上により、スポーツ人口の拡大を図ります。

本市には、銅鐸の鋳型をはじめ貴重な文化財が各時代にわたり多数遺されていましたが近年失われたものも少なくありません。文化財を保存・活用する体制を強化し、後世に伝承していくとともに、市民が郷土史や有形・無形の文化財に親しむ機会を充実し、文化財の保護思想の普及に努めます。

また、市民活動の支援と相互交流の拠点となる文化施設建設の検討を行い、芸術・文化の魅力向上に向けて、様々な催しや講座の開催、市民芸術・文化イベントなど、各種活動を振興します。芸術・文化は市民の生活に豊かさをもたらすものであり、文化の享受だけでなく創造も重要です。そのため、市民の運営による創造性あふれる事業の実施に取り組んでいきます。

###### （2）豊かな心を育む教育の推進

自ら考え、自ら活動する「生きる力」の育成に向けて、教育活動の充実や地域の教育人材の活用、教職員と保護者、地域との相互理解と協力による学校づくりなど、学校と地域が協働して教育の充実を図ります。

小・中学校教育においては、個性と想像力を培い、人権意識と国際感覚を養うプログラムを実施し、社会の変化に柔軟に対応できる資質に富んだ児童・生徒の育成に努めます。また、幼児教育では、公・私立幼稚園の連携のもとに心身の発達を助長する指導に努めるなど、教育環境の整備・充実を図ります。

青少年教育に関しては、青少年が地域活動やボランティア活動に自主的に参加する機会を充実させるとともに、地域活動組織を育成するなど、より広がりを持った青少年活動を展開します。

###### （3）交流と自律のまちづくり

本市における国際交流は、教育、文化・スポーツなど多方面で進展しており、今後、このような動向は一層高まるものと思われます。そのため、市民の交流ニーズに応えるとともに、都市の活力創出を図ります。

海外との相互理解を深める国際交流の軸となる姉妹・友好都市との交流事業は、市民と関係団体が中心となって、相互理解を一層深めていきます。また、国際交流と合わせて、歴史的、文化的なつながりのある国内姉妹都市との交流も深めていきます。

さらに、市民まつりや市民音楽祭などを開催し、イベントにより市の内外の人々との交流を促進し、互いに学び合える環境づくりを支援します。

これからは、市民が自らの判断と責任で、まちづくりに積極的に参加していくことが求められます。市民自らが自律と協働の精神で、地域や市域の様々な活動に参加するとともに、行政の政策形成過程や計画策定過程に積極的に参画し、自由かつ活発に意向を述べることは、都市の活力をみなぎらせる要因の一つです。このため、市民が自発的に市政に参画し、様々な場面で自らまちづくりの一員として参画できる体制を整備します。

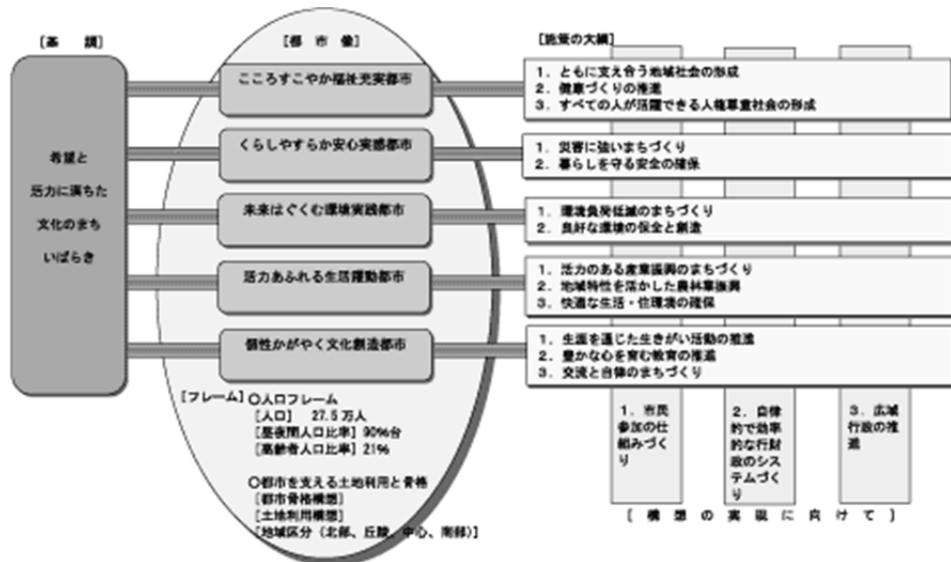


図 4-1 茨木市基本構想概念図

## □基本計画

### 第5章 個性かがやく「文化創造都市」の実現

#### 2 文化活動の活性化

##### (1) 文化行政推進体制の見直し

市民、文化団体、文化グループ等が、より主体的・積極的に継続的な事業展開が行えるよう、市・文化振興財団・市民それぞれの役割を含め、見直しを図ります。

##### (2) 芸術・文化事業の鑑賞・発表機会の充実

市民が優れた芸術・文化に接し、より主体的な創造がなされるよう、鑑賞機会の充実を図るとともに、その成果を発表する機会の充実に努めます。

##### (3) 幅広い分野にわたる芸術・文化活動の支援

既存の芸術・文化団体だけではなく、幅広く芸術・文化団体の発掘・育成を行い、あらゆる分野の文化が振興するように努めます。

##### (4) あらゆる世代が参加できる芸術・文化活動の展開

学校や地域との連携を図りながら、芸術・文化活動に幅広い世代が参加できるよう努めます。

##### (5) 生涯学習との連携強化

生涯学習センターを利用した活動、講座や自主グループとの連携や協力を通じて、市民の文化活動の活性化を図ります。

#### 3 伝統文化の保存と継承

##### (1) 伝統文化に触れる機会の確保

国・府と連携のもと、小・中学生をはじめ様々な世代の市民に、郷土芸能、民謡、踊り等、伝統文化に触れる機会を設け、市民に伝統文化の良さを伝えます。

#### 4 施設の整備・充実

##### (1) 芸術・文化活動の核となる施設の検討

より質の高い文化事業を開催し、活動団体の相互交流の核となる施設の整備・充実について検討します。

## 4.4 茨木市都市計画マスタープラン

(策定年次：平成 19 年 6 月 茨木市 HP より抜粋)

### □ 4 地域別構想

#### (3) 中心地域

中心地域は、JR 茨木駅、阪急茨木市駅周辺地域を中心とする商業・業務機能が集積した地域や低層、中高層の住宅地、また、幹線道路沿道での工業・流通業務地など多様な都市機能を有する地域となっています。

今後も、このような都市機能の維持・増進を図り、都市の活力と魅力の向上につなげていくことが必要です。

そのため、市民生活を支える①中心市街地の活性化や②良質な住宅・住宅地の保全・整備、③工場等の生産機能の維持を図るなど、多様な都市機能を維持・増進するまちづくりを推進します。

また、それらの都市機能の集積や④公共交通の利便性を活かすため、⑤都心部に集中する自動車交通の適切な処理を進め、⑥歩いて暮らせるまちづくりをめざすとともに、⑦公園や緑地など身近な緑の保全・整備を推進していきます。

##### ① 中心市街地の活性化

###### ○ 商業系地域以外での大規模集客施設の新規立地の制限

- ・ 中心市街地以外では、商業系用途地域以外での大規模集客施設の新規立地を制限します。

###### ○ 中心市街地の買い物しやすい環境づくり

- ・ 中心市街地等において、買い物しやすい歩行者環境を確保するために、商業者、消費者双方の利用マナーの向上や道路空間利用の見直しに努め、安全で快適に買い物ができる環境づくりに取り組みます。

- ・ 中心市街地等の利用が促進されるよう、公共交通の利便性の向上に努めます。

###### ○ 商店街の連続性維持のための商業施設立地誘導

- ・ 商店街等でマンションが立地した場合、店舗の連続性がとぎれないよう低層部における商業機能の導入を誘導します。

###### ○ 中心市街地活性化基本計画・茨木 TMO 構想に基づく施策の推進

- ・ 中心市街地を市民が買い物等を楽しみ、生活を豊かにする場として、その機能を維持し、活性化を図ります。

- ・ 市民や商業者の参加により策定した中心市街地活性化基本計画に基づく施策を推進します。

#### □ 基本構想図 (P55) 「地域と暮らしを支える交通と拠点・適正な土地利用を誘導する」

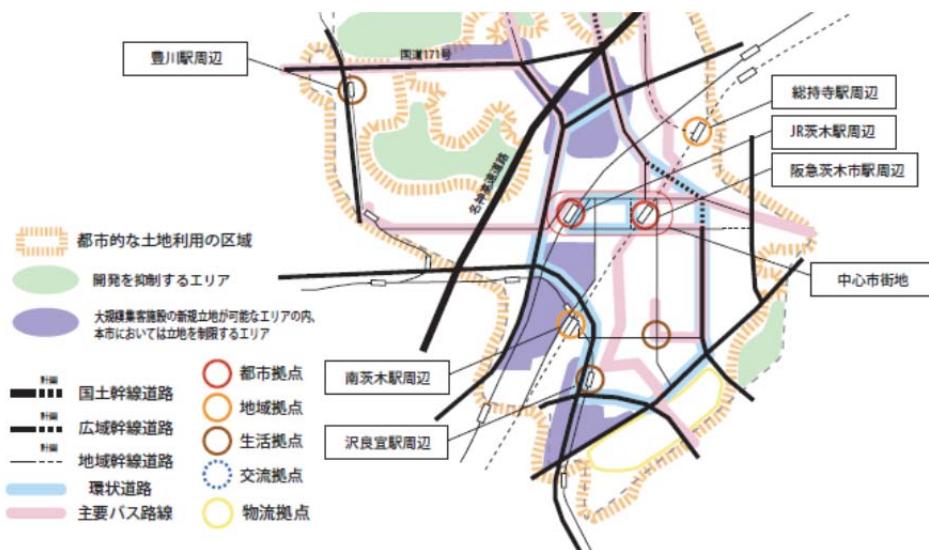


図 4-2 茨木市都市構造（中心地域、南部地域）

## 4.5 立命館大学大阪茨木キャンパス計画

(立命館大学 HP より抜粋)

2015年4月に、経営学部・研究科、政策科学部・研究科、経営管理科、研究科、テクノロジー・マネジメント研究科が、大阪茨木キャンパスに移転します。両学部に共通する社会と密着した課題解決型の教育・研究を地域との連携の中でさらに深め、進化させていきます。また、開かれたキャンパスとして、教育・研究のフィールドを世界へと広げていきます。

2015年4月に開設する大阪茨木新キャンパス。大都市圏からアクセス良好な立地で、「都市共創」「地域・社会連携」「アジアのゲートウェイ」の教学コンセプトのもと計画が進んでいます。

キャンパスは大きく①学舎ゾーン、②市街地整備ゾーン、③スポーツゾーンに分かれ、さらに茨木市、UR都市機構による防災公園の整備が予定されています。学びのコミュニティ、地域連携を生み出す施設の特徴を紹介します。

### (1) 教学コンセプト

#### ①都市共創

大阪を中心とする「都市」に集積する多様な人や組織をつなぎ、多様性の中に点在するポテンシャルを最大限に引き出すことによって、新たな価値の創出（＝都市の可能性を引き出し「人財・知識・環境・仕組み」を共に創る）を目指します。

#### ②地域・社会連携

地域・社会の課題解決を教育・研究のテーマとして揚げ、地域・社会への貢献と人材育成を進めます。また、地域市民との交流と絆を育み、その多様性の中から新しい文化を創出・発信するキャンパスづくりを目指します。

#### ③アジアのゲートウェイ

課題先進国である日本の経験と知の蓄積を活かし、人と人、知と知をつなぐ「ゲートウェイ」としての役割を発揮するとともに、ダイナミックな成長センターであるアジアの中で真の信頼と友情を育む人づくりに貢献することを目指します。

### 市街地整備ゾーン：知と文化の創造・発信・交流の拠点

地域・社会連携のシンボルとなるエリアで、防災公園に面する1階にはレストランを整備予定。ラーニングコモンズを有する図書館をはじめ、コンサートや学会でも利用可能な約1000人収容の大ホールや平土間ホール、研究・产学連携施設が配置され、知と文化の創造・発信・交流拠点としての役割が期待されています。

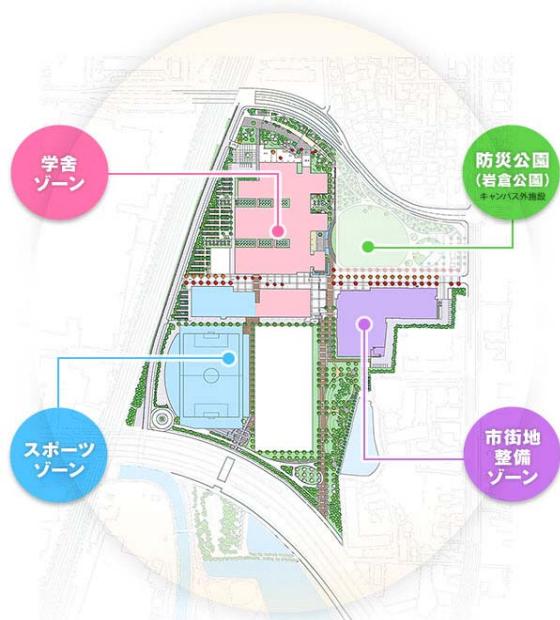
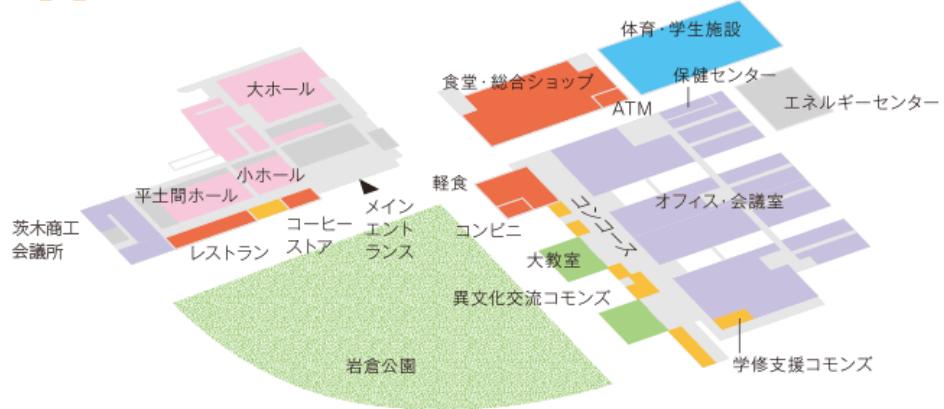


図 4-3 大阪茨木キャンパスゾーニング図

## 施設概要

1F



### 大ホール (最大 1,000 名収容)

立命館大学が有する最も規模の大きいホールとなります。演奏会や講演会にも対応可能な音響設備、フルオーケストラの演奏が可能なステージ、同時通訳ブースなどを整備します。



### 小ホール (135 名収容)

学会や講演会などの利用を想定した施設で、固定の机・椅子を設けます。



### 平土間ホール (着席時最大 400 名収容)

可動式の椅子・机で小規模なイベントやレセプションなどに対応可能な施設です。パーテーションで 2~3 つに区切って使用することができます。



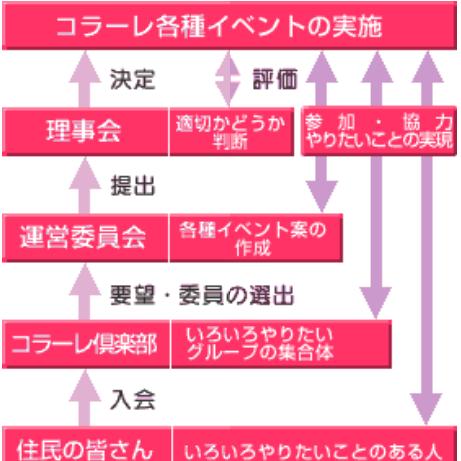
## 5. 特徴的な運営を行っている類似施設

---

特徴的な運営を行っている施設についてその施設や運営の概要を整理しました。

- 5.1 黒部市国際文化センターコラーレ
- 5.2 可児市文化創造センター
- 5.3 ミューザ川崎シンフォニーホール
- 5.4 杉並区公会堂
- 5.5 長野市芸術館（建設中）

## 5.1 黒部市国際文化センターコラーレ

設置主体	黒部市
所在地	富山県黒部市三日市
施設概要	敷地面積 37,973 m <sup>2</sup>
	建築面積 6,750 m <sup>2</sup>
	延床面積 9,010 m <sup>2</sup>
	施設規模 地上4階、地下1階鉄筋コンクリート造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造
	建設費 65.9億円
	施設内容 中ホール（886席）、小ホール208席を有する
	開館年月日 1995年11月3日
管理運営	指定管理者：財団法人黒部市国際文化センター
特徴	<p>コラーレは「市民の意志（企画等）と参加（ボランティア等）によって運営されていく」ことを基本理念に掲げ、それを実現するために「運営委員会」が発足しました。</p> <p>運営委員会は全員がボランティアで、毎月1回定例化を開き、コラーレに関する話題について話し合います。</p> <p>また、コラーレクラブ会員の中で、アクティブグループという、特に意欲的に活動するメンバーが集い、主催事業時の会場案内や託児などのボランティアサークルを立ち上げています。ステージ・サポーターという照明・音響等を手掛ける裏方のサポーターもいます。</p> 
写真等	

黒部市国際文化センターHPより抜粋

## 5.2 可児市文化創造センター ala

設置主体	可児市
所在地	岐阜県可児市下恵土
施設概要	敷地面積 33,554.72 m <sup>2</sup>
	建築面積 8,743.29 m <sup>2</sup>
	延床面積 18,410.87 m <sup>2</sup>
	施設規模 地上4階、地下2階鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造
	建設費 95億円
	施設内容 大ホール（1023席）、小ホール（313席）を有する。
	開館年月日 2002年7月27日
	管理運営 指定管理者：財団法人可児市文化芸術振興財団
特徴	<p>衛紀生氏を館長兼劇場総監督として、特徴的な運営・事業を行っています。</p> <p>「地域拠点契約」・・・劇団文学座と新日本フィルハーモニー交響楽団と、アーラを拠点に、公演はもちろん、ワークショップや学校・福祉施設などに出向いたアウトリーチ活動などをプログラミングした包括的な契約を結び、地方で質の高い公演を提供できるようにしています。</p> <p>「ala まち元気プロジェクト」・・・教育機関、福祉施設、保険医療機関、多文化機関へのワークショップ、アウトリーチを使命とするコミュニティ・プログラムを行っています。</p> <p>「ala Collection シリーズ」・・・一流のキャスト・スタッフが1か月半可児市に滞在しながら演劇製作を行うアーチストインレジデンス。</p> <p>チケットサービス・・・公演をセットにして、早くお得に買える「パッケージチケット」、みんなで観ると最大30%OFFになる「ビッグコミュニケーションチケット」、公演日が近くなると残席がダンダン安くなる「DAN-DANチケット」などがあります。</p> <p>「私のあしながおじさんプロジェクト」・・・地元企業・団体・個人から寄附をもらい、それをもとに市内在住・在学の中高生にチケットをプレゼントしています。</p>
写真等	
可児市文化創造センターHPより抜粋	

### 5.3 ミューザ川崎シンフォニーホール

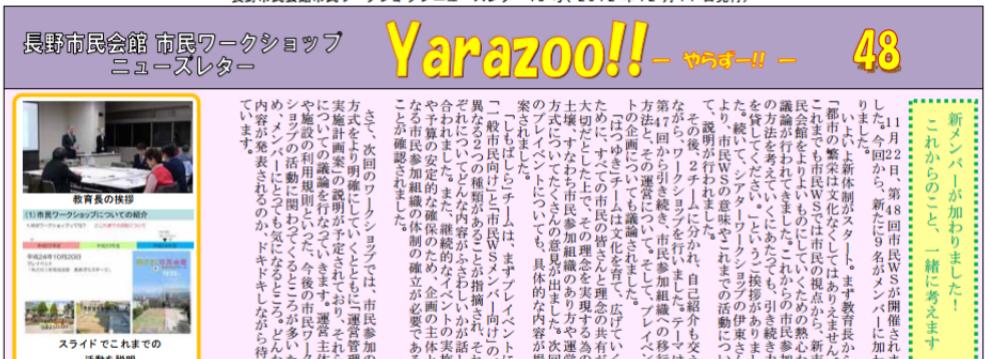
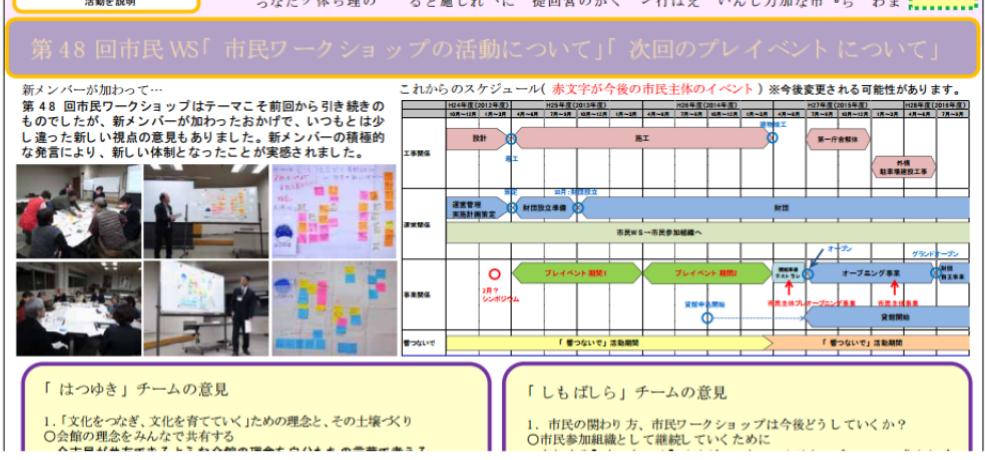
設置主体	川崎市
所在地	神奈川県川崎市幸区大宮町
施設概要	敷地面積 10,669 m <sup>2</sup>
	延床面積 114,600 m <sup>2</sup> (再開発部分) 17,244 m <sup>2</sup> (ホール部分)
	施設規模 地上8階、地下2階 鉄骨造 (一部鉄骨鉄筋コンクリート造)
	建設費 約200億円(ホール分)
	施設内容 大ホール(1997席)、小ホール(150席)を有する。
	開館年月日 2004年7月1日
	指定管理者:川崎市文化財団グループ (公益財団法人川崎市文化財団、株式会社シグマコミュニケーションズ及びサントリーパブリシティサービス株式会社による共同事業体)
特徴	川崎市は「音楽のまちづくり」を進めており、その象徴として2004年にミューザ川崎シンフォニーホールがオープンしました。 川崎市は東京交響楽団とフランチャイズ契約を行い、東京交響楽団はホール内に楽器庫を持ち、日頃の練習もミューザで行うなど、ミューザを活動の拠点としています。 定期演奏会や、0歳からのオーケストラなど数多くの演奏会を行うほか、川崎市内の学校や公共施設・区役所などへ出向き、楽団員による総遠征のアンサンブル活動も積極的に行ってています。
写真等	 

ミューザ川崎シンフォニーホールHP、東京交響楽団HPより抜粋

## 5.4 杉並公会堂

設置主体	杉並区
所在地	東京都杉並区上萩
施設概要	敷地面積 2,793.91 m <sup>2</sup>
	延床面積 9,846.27 m <sup>2</sup>
	施設規模 地上4階、地下2階RC・SRC造、一部S造
	施設内容 大ホール(1194席)、小ホール(198席)を有する。
	開館年月日 2006年6月1日
	管理運営 PFI 杉並公会堂株式会社
特徴	<p>建替えにあたり、日本で初めてホール施設にPFIを導入した事例である。施設の設計・建設・維持管理・運営のすべてを選定事業者の業務範囲とし、さらに運営に係る収入は選定事業者の収入としています。</p> <p>また、1994年に杉並区が日本フィルハーモニー交響楽団と友好提携が結ばれており、当楽団が優先してリハーサルで利用できる代わりに、地域還元として区民に無料でリハーサルの一部が公開されています。</p>
写真等	
杉並公会堂 HP、杉並区 HP、大林組 HP より抜粋	

## 5.5 長野市芸術館（平成 26 年度末竣工予定）

設置主体	長野市
所在地	長野市大字鶴賀緑町 1613 番地
施設概要	敷地面積 約 13,000 m <sup>2</sup>
	建築面積 約 5,780 m <sup>2</sup>
	延床面積 約 28,460 m <sup>2</sup>
	施設規模 地上 8 階、地下 2 階鉄筋コンクリート造、一部 SRC 造、鉄骨造
	建設事業費 基本計画段階 新庁舎：約 50 億円～65 億円程度 (12,000 m <sup>2</sup> ～16,000 m <sup>2</sup> ) 新市民会館：約 69 億円程度 (11,500 m <sup>2</sup> )
	施設内容 庁舎と市民会館の複合施設で、ホールについては、大ホール (1300 席)、小ホール A (300 席)、小ホール B (200～300 席) があります。
	開館年月日 2014 年度末完成予定
	管理運営 指定管理者：
特徴	平成 21 年度に基本構想を策定後、「長野市民会館市民ワークショップ」平成 22 年 6 月から平成 25 年 4 月までに 55 回のワークショップを開催し、市民の意見を取り入れた市民会館の建設を行っています。市内外の施設見学とプレイベントを 4 回、勉強会やイベントのための企画会議を含めれば合計約 80 回の会議・イベントを約 3 年にわたり開催しています。毎回ニューズレターを発行しており、ワークショップに参加していない市民にも情報を発信しています。
写真等	<p>長野市民会館市民ワークショップニュースレター 48 号 (2012 年 12 月 11 日発行)</p> <p><b>長野市民会館 市民ワークショップ ニュースレター</b> <b>Yarazoo!! - やらぞー!! -</b> <b>48</b></p>  <p>新メンバーが加わりました！ これからのこと、一緒に考えます</p> <p>長野市民会館市民ワークショップの活動について」「次回のイベントについて」</p>  <p>「はつゆき」チームの意見 1. 「文化をつなぎ、文化を育てていく」ための理念と、その土壤づくり ○会館の理念をみんなで共有する</p> <p>「しもばしら」チームの意見 1. 市民の関わり方、市民ワークショップは今後どうしていくか? ○市民参加組織として継続していくために</p>

長野市 HP より抜粋

## 6. 類似施設の特徴的な空間と活用方法

---

ロビーの使い方や、導入機能、空間の構成等において、特徴のある施設の概要を整理しました。

- 6.1 まつもと市民芸術館
- 6.2 滋賀県立芸術劇場 びわ湖ホール
- 6.3 兵庫県立芸術文化センター
- 6.4 兵庫県立美術館
- 6.5 河内長野市立文化会館
- 6.6 長岡市シティホールプラザ アオーレ長岡
- 6.7 総曲輪グランドプラザ
- 6.8 グランフロント大阪
- 6.9 神戸新聞松方ホール

6.1 まつもと市民芸術館	
設置主体	松本市
所在地	長野県松本市深志
敷地面積	8,995.76 m <sup>2</sup>
建築面積	7,080.02 m <sup>2</sup>
延床面積	19,184.38 m <sup>2</sup>
施設規模	鉄骨鉄筋コンクリート造地上7階、地下2階
総事業費	145億円
施設概要	<p>施設内容</p> <p>まつもと市民芸術館は、客席数750～1800に可変するホール、客席数288の小ホール、360席の実験劇場などを備えた文化施設です。高度な舞台芸術に対応する機能を持つとともに、コンベンション利用など、多様な要望にも応えることができます。松本の新たな芸術拠点として、さまざまな舞台芸術の鑑賞機会を提供するとともに、市民の活発な芸術文化活動を支援し、多彩な交流、文化の潤いを広げることを目的としています。</p> <p>建設期間：2000年11月～2001年10月 施工期間：2001年11月～2004年3月</p> <p>管理運営</p> <p>指定管理者：一般財団法人松本市芸術文化振興財団</p>
特徴	<p>施設2階にメインロビー「シアターパーク」があり、さまざまな催しを行うことができる、もうひとつの「劇場空間」と位置付けています。</p> <p>ホールのホワイエとしての機能も持つつ、美術作品展やバザー、結婚式にも使われています。</p>
写真等	   
まつもと市民芸術館HP、松本市HPより抜粋	

## 6.2 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール

設置主体	滋賀県
所在地	滋賀県大津市打出浜
施設概要	敷地面積 20, 000 m <sup>2</sup>
	建築面積 13, 960. 05 m <sup>2</sup>
	延床面積 29, 264. 25 m <sup>2</sup>
	施設規模 地上 4 階、地下 2 階
	総事業費 227 億円
	施設内容 びわ湖ホールは、国内有数の 4 面舞台を備えた大ホール、演劇向けの中ホール、小ホールを備えています。オペラ公演で高い評価を受けており、日本で上映されたことのないオペラのプロデュースなどを行っています。また、開館以来、「青少年オペラ劇場」「劇場探検ツアー」、びわ湖ホール専属の声楽アンサンブルによる学校巡回公演を行うなど、青少年向けの公演や活動に取り組んでいます。
	建設期間 平成 7 年 3 月 13 日～平成 10 年 3 月 12 日
管理運営	指定管理者：公益財団法人びわ湖ホール (指定管理期間：平成 23 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)
	特徴 メインロビーの一角に、気軽に舞台芸術の情報にふれることができる場所として舞台芸術情報サロンを設置しています。オペラ・クラシック音楽・バレエ・演劇などの書籍や雑誌を自由に閲覧できます。 また、DVD やビデオを見ることができる AV コーナーもあり、公演前の待ち合わせなどにも利用できるようになっています。
写真等	  

びわ湖ホール HP、より抜粋

### 6.3 兵庫県立芸術文化センター

設置主体	兵庫県
所在地	兵庫県西宮市高松町 2-22
敷地面積	13,227.00 m <sup>2</sup>
建築面積	10,530.53 m <sup>2</sup>
延床面積	33,144.98 m <sup>2</sup>
施設規模	地上 6 階、地下 1 階
総事業費	200 億円
施設概要	<p>多彩な文化創造活動を通じて、県民文化の振興拠点施設であると同時に、21世紀における舞台芸術の創造と交流を国内外に発信する拠点としての施設である。阪神・淡路大震災からの心の復興、文化の復興のシンボルとして整備が進められた施設でもあります。</p> <p>建物は、コンサートを主にしながら、オペラ、バレエにも対応できる 2000 席の大ホール、演劇を中心の 800 席の中ホール、室内楽に適した 400 席の小ホールをはじめ、リハーサル室、練習室などで構成されています。</p> <p>リズミカルに立ち並ぶ列柱、天空の光を取り入れるガラス天井など、装飾を用いない端正な建築美を追求し、コンクリートのもつ力強さと、木材・レンガなど天然素材の持つ優しさで舞台芸術の空間を演出しています。太陽光発電、屋上緑化、雨水利用などを採用した環境にもやさしい施設にもなっています。</p>
開館年月日	平成 17 年 10 月 22 日
管理運営	指定管理者：財団法人兵庫県芸術文化協会
特徴	共通ロビー “ピアツツア” (=広場(伊)) は、大・中・小 3 つのホールの「感動が交錯する」共通ロビー。高い天井からは自然光がそそぐ、明るく開放的な空間。この共通ロビーは公演がなくても誰もが気軽に立ち寄れる場所として開放しており、各種イベントに利用されています。
写真等	 
兵庫県立芸術文化センターHP、日建設計 HP より抜粋	

#### 6.4 兵庫県立美術館

設置主体	兵庫県
所在地	兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1丁目1番1号
施設概要	敷地面積 19,000.00 m <sup>2</sup>
	建築面積 12,807.71 m <sup>2</sup>
	延床面積 24,461.41 m <sup>2</sup>
	施設規模 地上4階、地下1階
	施設内容 兵庫県神戸市「HAT神戸」にある美術館で、前面のなぎさ公園と一体として設計されています。収蔵品数は7000点を超え、企画展示室、常設展示室の他、美術情報センター、ミュージアムショップ、レストラン、カフェ等があります。
	建設期間 平成11年3月～平成13年9月
	開館年月日 平成14年4月6日
特徴	「円形テラス」はB1駐車場、1Fエントランスホールとギャラリー棟や2Fの屋外スペースを結んでおり、展示棟とギャラリー棟、そして海と山をつなぐ美術館のシンボルとなっています。 ミュージアムショップでは、図録、絵葉書など展覧会関連商品の他に美術館オリジナルグッズ等を販売しています。
写真等	   

兵庫県立美術館 HP より抜粋

## 6.5 河内長野市立文化会館

設置主体	河内長野市
所在地	河内長野市西代町
施設概要	敷地面積 8,888 m <sup>2</sup>
	建築面積 5,307 m <sup>2</sup>
	延床面積 11,037 m <sup>2</sup>
	施設規模 地上3階、地下1階
	総事業費 68億円
施設内容	河内長野市が目指す「潤いと活気のある緑の健康都市」、その文化の拠点として誕生したのが河内長野市立文化会館「ラブリーホール」です。 クラシック・コンサートをはじめギャラリー展示、会合など、幅広い目的に対応できる機能を擁しています。
開館年月日	平成4年4月23日
管理運営	指定管理者：公益財団法人河内長野市文化振興財団
特徴	文化振興財団主催で「ロビーコンサート・シリーズ」と題し、地域で活動する若手を応援、育成するための企画を行っています。演奏の機会や会場を提供するだけでなく、制作全般を財団がバックアップしています。平成16年1月の開始以来10年間で150回を数えています。
写真等	 

河内長野市立文化会館 HP、より抜粋

## 6.6 長岡市シティホールプラザ アオーレ長岡

設置主体	長岡市
所在地	新潟県長岡市大手通 1 丁目 4 番地 10
施設概要	敷地面積 14,938.81 m <sup>2</sup>
	建築面積 12,066.08 m <sup>2</sup>
	延床面積 35,485.08 m <sup>2</sup>
	施設規模 地上 4 階、地下 1 階
	総事業費 138 億円（建設費）
	施設内容 市民協働と交流の拠点として設置。巨大な屋根付き広場である「ナカドマ」を中心に、5,000 人を収容するアリーナ、市民交流スペース、そして市役所が混然一体に混じり合う、まったく新しい形の公共空間となっている。
	開館年月日 平成 24 年 4 月 1 日
管理運営	長岡市
特徴	屋根付き広場「ナカドマ」は、中心市街地の大通りに面する 24 時間開放、全天候型の空間となっている。祭事や結婚式、成人式から、日頃の成果を披露するイベントまで、使う人が主役となる「ハレの場」を演出する。
写真等	  
アオーレ長岡 HP、長岡市 HP より抜粋	

## 6.7 総曲輪グランドプラザ

設置主体	富山市
所在地	富山県富山市総曲輪3丁目
施設概要	施設規模 南北65m、東西21m、面積1400m <sup>2</sup> 、高さ約19m
	総事業費 約15億2000万円（まちづくり交付金：約8億9000万円）
	施設内容 グランドプラザは、立体駐車場が入っている「CUBY（キュービィ）」と、「総曲輪フェリオ（総曲輪通り南地区）」の二つの再開発ビルの間の市道を拡幅して作る南北約65メートル、東西約21メートルのガラス屋根に覆われた広場空間である。
	開設年月日 2007年9月17日
	管理運営 富山市都市整備部
特徴	グランドプラザの敷地は、隣接する百貨店と駐車場の再開発に併せて、廃止する道路を集約し、両再開発のセットバック分も含めて21mの幅を確保している。セットバック部分は、市が無償で借り受け、広場全体を一括して市が直営で、整備、管理、運営を行っている。広場は天候に左右されない開放的なスペースとなっており、各種イベントのための、昇降式舞台、大型ビジョンを設置している。
写真等	  

総曲輪グランドプラザ HP、富山市 HP より抜粋

## 6.8 グランフロント大阪

設置主体		N T T都市開発株式会社、株式会社大林組、オリックス不動産株式会社、関電不動産株式会社、新日鉄興和不動産株式会社、積水ハウス株式会社、株式会社竹中工務店、東京建物株式会社、日本土地建物株式会社、阪急電鉄株式会社、三井住友信託銀行株式会社、三菱地所株式会社
所在地		大阪市北区大深町 3-1
施設概要	施設規模	南館：敷地約 10,571 m <sup>2</sup> 、延床約 187,800 m <sup>2</sup> 、階数地上 38 階・地下 3 階 北館：敷地約 22,680 m <sup>2</sup> 、延床約 295,100 m <sup>2</sup> 、階数地上 38 階・地下 3 階 うめきた広場：敷地約 9,920 m <sup>2</sup> 、延床約 10,540 m <sup>2</sup> 、階数地上 2 階・地下 2 階 オーナーズタワー：敷地約 4,666 m <sup>2</sup> 、延床約 73,800 m <sup>2</sup> 、階数地上 48 階・地下 1 階
	施設内容	大阪駅北地区貨物ヤード開発 24ha のうちの、第 1 期分 7ha の開発。138 年間にわたり大阪の物流を支え続けた場所に建つオフィス、商業、ホテル、レジデンスなどが入る複合施設。JR 大阪駅ノースゲートビルディングと直結する。
	開業年月日	2013 年 4 月 26 日
	管理運営	一般社団法人グランフロント大阪 TM0
特徴	南館と北館との間の街路に幅 11m の歩道をつくり、建物寄りの幅 4.3m をオープンカフェとした。歩道といっても公道なので、通常は営利目的には使えない。そこで、2011 年度に設けられた道路占用許可の特例制度を利用した。入居したテナントは、それぞれのスタイルでオープンカフェを運営している。建物のにぎわいが屋外にも広がり、街と溶け合う空間が実現した。	
写真等	 	
グランフロント大阪 HP、日経 BP 社 HP より抜粋		

## 6.9 神戸新聞松方ホール

設置主体	神戸新聞社
所在地	神戸市中央区東川崎町
建築面積	4, 204 m <sup>2</sup>
延床面積	42, 916 m <sup>2</sup>
施設規模	地上 18 階、地下 2 階
施設概要	神戸新聞社は阪神・淡路大地震から 1 年余の 1996 年 7 月、神戸ハーバーランドに新社屋となる神戸情報文化ビルを完成した。このビルは兵庫県下最大のマスコミ本社としての情報受発信拠点になる一方、コンサートのほか、講演、演劇、舞踊などにも利用可能な多機能ホールを 4 - 6 階に併設している。多機能ホールは、706 席の客席数を有する。
開館年月日	平成 8 年 7 月
管理運営	財団法人神戸新聞文化財団
特徴	【ホワイエ】海に向かう壁一面をガラス張りのサンテラス風に仕上げ、自然光を取り入れている。港町ならではの景色を前に、開演前や幕間にくつろげる空間。また深い紺色と白の色合いのじゅうたんは、鳴門の渦潮の衛星写真をもとにしたデザイン。2 階席への階段からながめると、豪快で壮大な渦を作り出す鳴門の渦潮に出会える。バーカウンターなども備えている。
写真等	  

神戸新聞 HP より抜粋

## 7. 検討の経緯

### 7.1 委員会設置要綱

茨木市規則第 25 号

茨木市文化振興施策推進委員会規則

(趣旨)

第1条 この規則は、茨木市附属機関設置条例（平成25年茨木市条例第5号）第3条の規定に基づき、茨木市文化振興施策推進委員会（以下「委員会」という。）の組織、運営その他必要な事項を定めるものとする。

(職務)

第2条 委員会は、市長の諮問に応じ、茨木市附属機関設置条例別表に定めるその担任する事務について、意見を述べるものとする。

(組織)

第3条 委員会は、委員13人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、市長が委嘱する。

- (1) 市民
- (2) 学識経験者
- (3) 関係団体から推薦された者

(任期)

第4条 委員の任期は、1年とし、再任を妨げない。

2 補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第5条 委員会に委員長を置き、委員の互選により定める。

2 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

3 委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、あらかじめ委員長の指名する委員がその職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議は、委員長が招集し、その議長となる。

2 委員会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。

3 委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

4 委員長が必要と認めたときは、委員以外の者を会議に出席させ、説明又は意見を聞くことができる。

(専門部会)

第7条 委員会に、専門的事項に関する審議を分掌させるため、専門部会を置くことができる。

(庶務)

第8条 委員会及び専門部会の庶務は、市民文化部において処理する。

(秘密の保持)

第9条 委員会の委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

(委任)

第10条 この規則に定めるもののほか、委員会の運営について必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附 則

この規則は、平成26年4月1日から施行する。

## 7.2 委員名簿

五十音順、敬称略

氏名	所属
飯嶋 豊	茨木市音楽芸術協会会長
○栗本 智代	大阪ガス株式会社エネルギー・文化研究所研究員
◎出口 正之	国立民族学博物館民族文化研究部教授
松本 雅裕	公益財団法人茨木市文化振興財団理事長
山野 寿	一般財団法人茨木市観光協会会長

◎委員長、○職務代理

(平成 26 年○月○日委嘱)

## 7.3 検討経緯

会議名	開催日	議事概要
第1回 文化芸術ホール 建設基本構想策定専門部会	平成 26 年 6 月 24 日	・市内の類似施設について ・先進事例について
第2回 文化芸術ホール 建設基本構想策定専門部会	平成 26 年 8 月 28 日	・基本理念について ・基本方針について ・報告書（案）について
第3回 文化芸術ホール 建設基本構想策定専門部会	平成 26 年●月●日	